

# 令和3年度大和市文化創造拠点等 指定管理者事業報告概要及び評価

## 令和3年度大和市文化創造拠点等指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:令和3年4月1日～令和4年3月31日

施設名	大和市文化創造拠点等(大和市文化創造拠点、大和市立中央林間図書館、大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター、大和市つきみ野学習センター、大和市桜丘学習センター、大和市立渋谷学習センター及び大和市立渋谷図書館)
指定管理者	やまとみらい
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

### 【第1部 事業報告概要】

#### 1. 運営組織に関すること

##### (1) 組織体制

大和市文化創造拠点を中心とする7つの施設を「統一した理念に基づき融合したひとつの施設」との認識をもって運営いたしました。各施設の指定管理業務の運営体制は以下のとおりです。

施設名		共同事業体運営企業
大和市 文化創造拠点	やまと芸術文化ホール	サントリーパブリシティサービス株式会社
	大和市立図書館	株式会社図書館流通センター
	大和市生涯学習センター	株式会社小学館集英社プロダクション
	大和市屋内こども広場	株式会社明日香 株式会社ボーネルンド
	維持管理 ※中央林間図書館・渋谷図書館・ 渋谷学習センター除く全施設	横浜ビルシステム株式会社
大和市立中央林間図書館	株式会社図書館流通センター	
大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター	株式会社小学館集英社プロダクション	
大和市つきみ野学習センター	株式会社小学館集英社プロダクション	
※つきみ野学習センター図書室	株式会社図書館流通センター	
大和市桜丘学習センター	株式会社小学館集英社プロダクション	
※桜丘学習センター図書室	株式会社図書館流通センター	
大和市立渋谷学習センター	株式会社小学館集英社プロダクション	
大和市立渋谷図書館	株式会社図書館流通センター	

共同事業体全体に関わる連絡調整は統括責任者が中心となり、一体的に管理運営を行いました。総務担当部門を新設、統括業務を事務局化し、7施設を効率的に管理運営できるよう努めました。

各社の責任者が構成する「やまとみらいJV会議」は第1期同様、月1回開催しました。主催は代表企業である「図書館流通センター」が務め、共同事業体本社と現場との情報共有の場として機能しました。

現場サイドでは統括責任者と各施設館長・所長による「館長会議」を開催し、利用者からの苦情、要望、管理上の問題などに対する協議や各施設間連携、情報の共有、運営ルールの決定、各専門委員会での検討事項に対する協議などを行い、融合を目標とした運営に努めました。

また、運営に関する具体的な検討を行うため、館長会議に4つの専門委員会を設置し、適切な管理運営とサービス向上に努めました。専門委員会は、以下のとおりです。

委員会名	担当構成企業
安全向上委員会	横浜ビルシステム株式会社
セルフモニタリング委員会	株式会社小学館集英社プロダクション
広報・事業企画検討委員会	株式会社図書館流通センター サントリーパブリシティサービス株式会社
情報管理委員会	株式会社明日香

さらに、7月に各館の副館長、副所長による「業務改善会議」を立ち上げ、利用者目線からの改善点を抽出、①あいさつの励行、②ご意見箱の可視化、③接遇の向上を主な議題としました。①②については年度中に実行、③についてはやまとみらいのクレド(接遇における行動指針)を作成することから始めました。作成にあたり地区館を含めた全7施設からスタッフが集うワークショップ形式で進めたことで、企業間交流、相互理解が深まりました。今後は各館でクレドを活用した取り組みを進め、皆さまから親しまれる施設運営に寄与してまいります。

大和市との連絡調整機関としては、市の各所管課長とやまとみらい統括責任者、各館長・所長が出席する「文化創造拠点等連絡調整会議」を月1回開催するとともに、日頃から図書・学び交流課長とやまとみらい統括責任者の間で情報の交換・共有を行うことで、大和市とやまとみらいの意思疎通を図り、円滑な管理運営に努めました。

## (2) 基本的な考え方

人・地域・文化を育む 「健康都市やまと」の実現と、文化創造拠点を中心に展開する 「図書館 城下町 大和市」の発展に貢献します
--

やまとみらい基本方針	「人・地域・文化を育む」
行動指針①	「すべての人の居場所としての施設づくり」
行動指針②	「地域とのつながりの強化」
行動指針③	「『市民が主役』をサポートする」
行動指針④	「安全・安心・安定的な施設運営」

令和3年度は年度初めからまん延防止等重点措置が適用され、緊急事態宣言発令、さらにオミクロン株の流行によるまん延防止等重点措置適用と、1年の4分の3の期間に制限がかかった年度となりました。やまとみらいでは、利用者のご理解をいただきながらマスクの着用や室内換気、会話等基本的な感染症対策の徹底に努めてまいりました。その結果、利用される皆さまに安心安全な施設と受け止めていただき、コロナ下でありながら入館者数は昨年度比166%(約223万人)と多くの方を迎えることができました。緊急事態宣言下には近隣図書館が休館する中、「シリウスが開館していて助かった」とのお声もありました。

また、大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター、大和市渋谷学習センターでは新型コロナウイルスのワクチン接種会場となり利用できない施設があつたにもかかわらず、利用者のご理解とご協力のもと大きなトラブルもなく、スムーズな管理運営ができました。

今後も大和市文化創造拠点を中心とした全7施設では感染症対策を講じながら、皆さまに「来てよかった」「また行ってみたい」と言われる施設運営に邁進してまいります。さらに、引き続き魅力的な文化の溢れる大和市を実現するため、各企業が持つ高度な専門性、そして運営スキルを最大限活用し、大和市に暮らす全ての方が誇れる居場所(誰もが気軽に立ち寄り、交流を深め、創造や感

動を生み出し、発信する)づくりを実現いたします。

### (3) 職員の育成

#### ① 基本方針

やまとみらい全職員に求められる知識や能力は多岐に渡ります。今年度も各施設の業務に即した専門知識を学ぶ「施設別研修」、全員が共通のスキルを学ぶ「共通研修」の2本を柱に進めました。また、共通研修の項目に掲げた「接遇品質向上研修」として、接遇における“やまとみらいとしての在りたい姿・目指す姿”を「クレド」にし、各館にて活動を開始しています。

さらにセルフモニタリング委員会において実施したアンケート結果をもとに、やまとみらいの課題を抽出し、改善させるための研修も立案しました。

次年度はこれらクレド活動と更なる研修を合わせ、接遇品質の向上に努めます。

#### ② 研修内容

##### 1) 共通研修

項目	内容	対象
新人研修	文化創造拠点等の一員としての意識と他施設に関する基礎知識を身に着け、文化創造拠点等のロイヤリティを高める	新人職員
＜計画どおり実施＞WEB研修ツールとして用意している接遇動画や施設概要研修用動画による研修を実施した。		
接遇品質向上研修	モニタリングアンケートの結果を踏まえた研修。プライオリティゲストの対応、苦情対応等、接遇における様々なシチュエーションを想定し、幅広く学ぶ	各施設選抜
＜計画どおり実施＞各館にて実施。また、モニタリングアンケートを実施し、その分析による課題解決のための研修立案までを遂行した。次年度は本格的なクレドの運用、接遇基礎研修の徹底、高齢者にやさしい接遇研修などを実施予定。		
施設概要研修	各施設相互の役割・機能を理解する	全員
＜計画どおり実施＞WEB研修ツールである動画による施設概要研修を実施。なお、受講者のアンケートをもとに令和4年度に内容を更新し、引き続きWEB研修として実施する予定。		
コンプライアンス研修	公共施設職員としての心得、個人情報保護など	全員
＜計画どおり実施＞動画URLを全職員に配信しWEB研修を実施。個人情報に関する理解浸透に努めた。令和4年度はこれまでの取り組みを継続していくことに加え、倫理観や公序良俗などにスポットを充て、コンプライアンスに関する意識醸成を促していく。		
緊急時対応研修	避難訓練(法令の規定回数)、不審者対応など	各施設選抜
<p>＜計画どおり実施＞シリウスにて火災と地震を想定した避難訓練を実施。避難訓練実施後は消火器、屋内消火栓を使った消火訓練も実施。また、生涯学習センターでは机上避難訓練を実施し全員が受講した。</p> <p>中央林間図書館にて、東急スクエア主催の消防訓練実施。(全職員が書面訓練参加)</p> <p>北部文化・スポーツ・子育てセンターにて不審者対応訓練、避難訓練を実施。</p> <p>つきみ野学習センターにて消防訓練、避難誘導訓練を実施。</p> <p>桜丘学習センターにて消防訓練を実施。</p> <p>渋谷図書館、渋谷学習センターにてIKOZA合同避難訓練を実施。</p>		
救急救命講習	心肺蘇生(AED)の習得、傷病者手当	未受講者
＜中止＞新型コロナウイルス感染拡大に伴い大和市消防職員の講師派遣が中止されたため		

## 2) 施設別研修

### ア) 芸術文化ホール

項目	内容
全体研修	事業、運営、広報の各グループの活動方針・計画などを策定・共有し、運営上の諸問題を解決する
<p>&lt;計画どおり実施&gt;活動方針や活動進捗などは研修時に全員へ共有した。特にコロナ対応等の運営上の諸問題は研修時に議論するなど取り組みを進めた。</p>	
受付研修	ホールの受付職員としてのスキル・接遇品質を高める
<p>&lt;計画どおり実施&gt;受付職員を対象とした研修。専門スキル、接遇マインド育成を目的としたレセプション研修や事例研究等を行った。</p>	
他館研究	自社の運営する他ホールの接遇スキルや運営ノウハウの知見を得る
<p>&lt;計画どおり実施&gt;コロナ禍で、実際に足を運んでの視察等はできなかったが、WEB 会議等も利用し情報収集に努め、自館へのノウハウ蓄積にあたった。</p>	

### イ) 図書館

項目	内容
新人研修	図書館で働く心構え、接遇マナー、レファレンスや著作権など、基礎について学ぶ
<p>&lt;計画どおり実施&gt;本社研修(e-ラーニング)として実施。</p>	
新任責任者研修	責任者としての役割や心構え、また労務管理や収支管理などについて学ぶ
<p>&lt;計画どおり実施&gt;本社研修(e-ラーニング)として実施。上述の内容に加え、ハラスメント研修、個人情報保護研修などを受講した。</p>	
テーマ別研修	レファレンスや選書、児童サービス、広報など幅広いテーマから選んで受講し、スキルの向上を目指す
<p>&lt;計画どおり実施&gt;本社研修(e-ラーニング)として実施。図書館員としての専門知識の習得をはじめ、傾聴やビジネスマナー、アンガーマネジメントなど幅広いテーマから選択し、全スタッフが1講座以上を受講した。</p>	
<p>《その他》            プライバシーマーク研修(全職員)            新任図書館長研修 文部科学省(対象者のみ)            市町村図書館等職員研修 神奈川県立図書館(選抜職員)            感染対策アドバイザー検定 感染対策アドバイザー協会(各館長)</p>	

### ウ) 学習センター

項目	内容
新入社員研修	学習センターで働くうえで必要な知識、接遇マナー、個人情報の取り扱い等を学ぶ。
<p>&lt;計画どおり実施&gt;年度途中に入社した職員に対し、各施設で個別に研修を実施。令和4年度春に改めて令和4年度入社社員と共に本社研修を受講した。</p>	
マネジメント研修	施設毎のマネジャークラス職員を集め、課題を共有、マネジメントのノウハウを学ぶことで健全な組織運営手法を学ぶ。
<p>&lt;計画どおり実施&gt;本社研修として実施(各館長)</p>	

安全担当者研修	施設毎に選定した安全担当者を集めた、課題の共有と目標の設定をし、組織の安全意識を高める。
<計画どおり実施>情報交換とコロナ禍での防災訓練、クレーム対応について研修した。年2回実施。(担当者)	
全国企画担当者会議	講座イベント等企画に関する情報共有と効果的な企画書の作り方について学ぶ。オンライン講座の事例発表。
<計画どおり実施>本社研修として実施。(担当者)	
労務研修	施設毎に選定した労務担当者を集め、課題を共有し、労務管理のノウハウを学ぶことで組織内の安定的運営を図る。
<計画どおり実施>オンライン研修として実施。(各館長、担当者)	
総務・経理研修	経理システムの周知を目的に学ぶ。
<計画どおり実施>本社研修として実施。(担当者)	
公民館研修	生涯学習・社会教育の果たすべき役割を学ぶ。
<計画どおり実施>会場及びオンラインで研修に参加。生涯学習におけるオンライン学習の進め方について学んだ。	
ストレスマネジメント研修	ストレスについてと対処法について学ぶ。
<計画どおり実施>本社研修としてオンラインで実施。	
クレーム対応研修	顧客心理と接遇、クレーム対応の手順について学ぶ。
<計画どおり実施>本社研修としてオンラインで実施。	
防災館研修	都の施設にて災害時の対応方法を学んだ。
<計画どおり実施>本社研修として、防災館にて実施。	
MFA研修 (応急救護研修)	応急救護の方法とAEDの操作方法について学ぶ。
<計画どおり実施>本社研修として実施。	
個人情報保護研修	個人情報の種類と取り扱いを学ぶ。
<計画どおり実施>eラーニングを利用して全職員が受講。	
その他 コミュニケーションセミナー(生涯学習センター受付担当者他) 施設設備研修、災害時対応研修、接遇研修	

エ)屋内こども広場

項目	内容
プレイリーダー研修	プレイリード技術・接遇品質を高める
<計画どおり実施>げんきっこ広場内に常駐するプレイリーダーの接遇品質向上を目的とした研修を実施。こどもとの接し方や遊びを通じてこどもの創意工夫を引き出す方法を習得した。	
神奈川県子育て支援員研修	子育て支援に必要となる知識や技能等を修得する
<計画どおり実施>屋内こども広場に在籍する全ての職員を対象に、子育て支援への理解を深め業務に携われるよう、神奈川県主催の子育て支援員研修に参加した。	

オ)施設維持管理

項目	内容
清掃従事者研修	清掃に関する知識・マナー・スキルを高める
<計画どおり実施>新型コロナウイルス感染対策として、消毒液を使った什器消毒研修を実施した。	
防災センター従事者研修	警察・消防 OB による指導で安全安心の意識を高める
<計画どおり実施>個別対応として実施。	
ユニバーサルマナー研修	全ての人が心地よく過ごせるためのマナーを学ぶ
<変更>すべての人に心地よく過ごしていただくための一つの課題として、エレベーター利用ルールの一部変更について会議を重ねた。	

(4) 個人情報の保護及び情報公開

① 個人情報の保護

1) 基本方針

個人情報保護法 第 20 条に基づき日常業務に取り組みました。また、自治体から運営を受託する指定管理者制度では、法律として民間企業に義務付けられた「個人情報保護法」、大和市が定める「大和市個人情報保護条例」の 2 つを遵守し、やまとみらいで作成した「個人情報保護マニュアル」に基づき、適切に管理してまいりました。

2) 管理体制

個人情報管理体制は「情報管理委員会」を協議機関としました。さらに、総括責任者としてやまとみらい統括責任者が、管理責任者を各館長及び所長が担い、四半期ごとに大和市へ状況報告を行いました。

3) 研修の実施

個人情報を取り扱う職員を対象とした個人情報保護研修及び確認テストを実施しました。

② 情報公開について

「大和市情報公開条例」に基づき、公正で開かれた施設の実現を図り、本施設に対する市民の理解を深めることで、市民と本施設との信頼関係を一層増進することを目指し業務に臨んでまいりました。個人情報や第三者情報については、情報公開の趣旨を理解した上で情報の公開と保護を適正に行い、情報公開請求に対応しておりますが、令和3年度情報公開請求件数は0件でした。また、情報公開に対応するだけでなく、積極的に施設の情報を発信するため、HP や館内広報誌のさらなる充実を図りました。

(5) セルフモニタリング

※令和3年度事業計画作成時「パフォーマンス指標については、新型コロナウイルス感染対策の影響は考慮せず、通常開館での目標値とする」とした。しかし、令和3年度も新型コロナウイルス感染は収束せず、様々な制限のなかでの運営となったため目標未達成となる項目も多かった。

<パフォーマンス指標> 令和3年4月1日~令和4年3月31日

項目	目標値	実績	総括
1. シリウス全館の取り組み			

(1)年間来館者数		3,000,000人	2,229,185人	
(2)駐車場	利用者数	30,000台	46,241台	
(3)駐輪場	利用者数	80,000台	85,394台	
(4)融合事業	実施回数	7回	7回	
(5)全館業務を対象とした研修	実施回数	10回	4種	個別 web 研修。全職員受講を完了。
(6)危機管理対策研修	実施回数	5回	5回	防災訓練(火災・地震)、消火実施訓練(消火器・屋内消火栓)、ビデオ上映による防災講座を開催した。

2. やまと芸術文化ホール				
(1)年間来場者数		250,000人	104,520人	
(2)施設稼働率(日数)		87%	82%	
(3)文化芸術事業	実施回数	23回	21回	芸術鑑賞事業4公演が中止となったが、内容変更や代替事業にて対応し実施した。
	来場者数	6,000人	5,364人	席数制限解除となった「小野リサ」の公演ではほぼ満席となった。また、代替企画等実施にあたっては、感染防止対策を講じ、コロナ禍においても安心してご来場いただけるよう事業運営に努めた。
	満足度	90%	96%	代替企画においても、第一線で活躍するアーティストの公演を開催。また、市民ニーズに即した音楽公演、落語公演等の実施により、例年と変わらず、高い満足度を獲得した。
(4)友の会会員数	会員数	6,800人	6,840人	SNS やチラシ、ステージガイド等の広報物に、入会促進のための QR コードやリンクなどを掲載。また、お問合せや、窓口での相談対応等を丁寧に行った結果、目標数を達成した。
(5)ステージガイド発行回数	実施回数	3回	3回	
(6)研修回数		15回	15回	外部講師を招いての研修や活動方針の研修等を実施した。



(7) スタッフの待遇への満足度	90%	86%	多様化するニーズに対応するため、ニーズの共有やヒアリング力向上に関するスキルアップ研修等を実施した。今後も利用者、来館者のニーズをくみ取りながら一層研鑽を重ねていく。
(8) 舞台に関する安全講習実施回数	2回	2回	
(9) 舞台に関する事故件数	0件	0件	

3. 大和市立図書館				
(1) 貸出資料数		720,000冊	716,498冊	このような状況においてこそ本が必要とされることが数字にも表れた。
(2) レファレンス(提供情報蓄積数)		150件	152件	
(3) 蔵書数(全体新規購入数)		15,000冊	15,030冊	
(4) 郷土資料蔵書数		400冊	419冊	
(5) 予約・リクエスト数		230,000件	297,809件	コロナ禍において、予約が大幅に増加した。
(6) 健康コーナー提供情報蓄積数		160件	97件	利用者が健康コーナーの利用に慣れたことで自ら調べものを行うことができるようになり、レファレンスにカウントされない事例が増えたことが要因の一つと考えられる。今後も、初めての利用者でも相談しやすい環境づくりを心掛ける。
(7) 健康イベント	実施回数	363回	239回	月・金の健康づくり推進課講座が中止となっているため。
	参加者数	7,300人	2,841人	
(8) 家読推進事業	実施回数	25回	27回	正月の福袋が早々に全て借りられるなど、それぞれの事業が定着していることが感じられた。
	参加者数	1,100人	675人	
(9) おはなし会	実施回数	111回	130回	
	参加者数	3,000人	1,919人	
(10) 各種講座・イベント	実施回数	18回	24回	
	参加者数	600人	790回	
(11) 展示コーナー	実施回数	115回	142回	

(12) 学校対象事業	実施回数	24回	17回	学校との連携を深め、コロナ禍においても利用してもらえる方策を検討する。
(13) ボランティア育成講座	実施回数	13回	11回	講座、打合せ、つどいの合計参加者数は134人。
(14) 研修回数		30回	53回	社内の研修制度に沿って適切に実施した。
4. 大和市立中央林間図書館				
(1) 貸出資料数		330,000冊	361,747冊	つきみ野図書室休館の影響で目標を大きく上回った。12月までの実績ベースでも計画通りに推移しており、つきみ野図書室の影響を差し引いても目標通りの実績であった。
(2) 貸出利用者数		120,000人	142,532人	
(3) 利用者登録数		2,400人	2,496人	
(4) リクエスト受付件数		12,000件	13,672件	
(5) レファレンス受付件数		100件	101件	
(6) タブレット貸出数		3,000件	2,696件	目標に対して未達成となったが、着実に周知は広まっている。
(7) 研修回数		12回	18回	社内の研修制度に沿って適切に実施した。また、個人情報管理や危機管理の研修を実施した。
5. 大和市立渋谷図書館				
(1) 貸出資料数		180,000冊	159,141冊	
(2) 貸出利用者数		58,000人	52,139人	
(3) 利用者登録数		700人	652人	
(4) リクエスト受付件数		5,500件	6,032件	コロナ禍において、予約が増加した。
(5) レファレンス受付件数		50件	55件	親しみやすく気軽に質問できる雰囲気づくりに努め、目標を達成することができた。
(6) 研修回数		12回	14回	社内の研修制度に沿って適切に実施した。
(7) イベント回数	おはなし会	27回	27回	
	各種イベント	4回	7回	参加人数に制限を設けていたが、計画を超える回数を行うことでより多くの方に参加いただけた。
(8) 展示コーナー実施回数		36回	40回	

6. 大和市生涯学習センター				
(1) 年間来場者数		580,000 人	257,602 人	
(2) 施設稼働率		56%	51.8%	
(3) 団体利用数		16,800 コマ	14,265 コマ	
(4) 市民交流ラウンジ利用者数		46,000 人	37,992 人	
(5) 職場体験等受入数		2 回	0 回	受入中止
(6) 生涯各期事業 現代的課題	実施日数	19 事業/199 日	21 事業/225 日	毎月オンライン講座を実施した。また平日にも学習室開放事業を行った。
	参加者数	4,900 人	5,244 人	
	満足度	90%	93%	
(7) 専門的講座 (やまとみらいカレッジ)	実施日数	3 事業/15 日	3 事業/15 日	参加人数に制限があったが、令和4年はサテライト会場も実施し受講環境を整える。
	参加者数	600 人	539 人	
	満足度	90%	86%	
(8) やまとこども市民大学	実施日数	1 事業/1 日	1 事業/1 日	
	参加者数	20 人	22 人	
	満足度	90%	91%	
(9) 生涯学習関連事業	実施日数	5 事業/10 日	10 事業/33 日	市民の関心が高く学びきっかけ作りとなる講座を開催した。
	参加者数	100 人	1,056 人	
	満足度	90%	93%	
(10) 生涯学習センターまつり	実施日数	1 事業/2 日	1 事業/2 日	参加を見合わせるサークルもあったが、感染症対策を万全に実施した。
	参加者数	2,800 人	934 人	
	満足度	80%	—	
(11) 利用者懇談会等	実施回数	3 回	2 回	サークル倉庫抽選会は希望者いなかったため中止した。
	参加者数	80 人	14 人	
(12) 研修	実施回数	6 回	11 回	オンライン研修も活用した。
(13) スタッフの接遇への満足度		90%	84%	
7. 北部文化・スポーツ・子育てセンター				
※ワクチン接種会場となったため、項目により増加、減少があった。				
(1) 年間来館者数		330,000 人	471,935 人	
(2) 駐輪場	利用者数	66,000 台	54,707 台	
(3) 施設稼働率		55%	82.6%	
(4) 団体利用数		13,000 コマ	12,997 コマ	
(5) 個人利用	登録数	1,500 人	702 人	
	利用者数	9,600 人	4,406 人	
(6) 市民交流スペース利用者数		180,000 人	70,256 人	
(7) 生涯各期事業 現代的課題	実施日数	8 事業/379 日	11 事業/258 日	
	参加者数	11,900 人	9,598 人	
	満足度	85%	95%	
(8) 地域や利用者と密接に連携した講座	実施日数	5 事業/13 日	4 事業/12 日	地域の講師や市内のNPO と協力して事業を展開した。
	参加者数	100 人	203 人	
(9) センターまつり	実施日数	1 事業/2 日	中止	代替企画として「誌上ポラリスまつり」を実施。活動団体向けに
	参加者数	2,000 人		
	満足度	80%		

				冊子を発行した。
(10) 地域文化振興事業	実施日数	2事業/2日	2事業/2日	
	参加者数	300人	85人	
(11) 利用者懇談会等	実施回数	1回	2回	
	参加者数	30人	8人	
(12) 研修	実施回数	7回	13回	オンライン研修も活用した。
(13) スタッフの接遇への満足度		85%	91%	研修や職員の意識づけを強化した結果、毎年向上している。

#### 8. 大和市つきみ野学習センター

(1) 年間来場者数		150,000人	172,482人	学習室や保育室の開放利用者や、他館で活動している団体の利用が増えた。
(2) 施設稼働率		50%	43.4%	
(3) 団体利用数		5,670コマ	4,360コマ	
(4) 職場体験等受入数		1回	0回	受入中止
(5) 生涯各期事業 現代的課題	実施日数	11事業/488日	16事業/603日	オンライン保育室、保育室開放、学習室開放等を実施した。
	参加者数	4,870人	5,089人	
	満足度	85%	91.1%	
(6) 地域や利用者と密接に連携した講座	実施日数	4事業/12日	6事業/36日	新事業「絵本で♡はぴねす」を企画。オンラインに切り替えて実施した。
	参加者数	130人	508人	
(7) 専門的講座 (やまとみらいカレッジ)	実施日数	1事業/5日	1事業/5日	参加人数に制限があったが、令和4年はサテライト会場も実施し受講環境を整える。
	参加者数	200人	65人	
	満足度	85%	89%	
(8) つきみ野学習センターまつり	実施日数	1事業/2日	中止	代替企画として「つきみ野博覧会」を実施した。
	参加者数	2,500人		
	満足度	85%		
(9) 地域文化振興事業	実施日数	1事業/1日	中止	
	参加者数	100人		
(10) 利用者懇談会等	実施回数	3回	3回	
	参加者数	60人	45人	
(11) 研修	実施回数	7回	14回	オンライン研修も活用した。
(12) スタッフの接遇への満足度		85%	86%	

#### 9. 大和市桜丘学習センター

(1) 年間来場者数		120,000人	221,962人	
(2) 施設稼働率		55%	64.9%	
(3) 団体利用数		5,890コマ	6,351コマ	
(4) 職場体験等受入数		2回	0回	受入中止
(5) 生涯各期事業 現代的課題	実施日数	11事業/762日	12事業/786日	計画にはなかったが、市民との交流をテーマとした事業を実施した。
	参加者数	1,000人	1,800人	
	満足度	85%	94%	
(6) 専門的講座	実施日数	1事業/5日	1事業/5日	参加人数に制限があったが、令和4年はサ
	参加者数	200人	53人	

(やまとみらいカレッジ)	満足度	85%	98%	テラライト会場も実施し受講環境を整える。
(7) 地域や利用者と密接に連携した講座	実施日数	1事業/10日	1事業/298日	年間を通してロビー前の掲示場イベントを実施した。
	参加者数	160人	623人	
(8) 桜丘学習センターまつり	実施日数	1事業/2日	1事業/2日	参加を見合わせるサークルもあったが、感染症対策を万全に実施した。
	参加者数	2,500人	1,346人	
	満足度	87%	90%	
(9) 地域文化振興事業	実施日数	1事業/1日	1事業/1日	
	参加者数	200人	54人	
(10) 利用者懇談会等	実施回数	3回	3回	
	参加者数	60人	21人	
(11) 研修	実施回数	7回	10回	
(12) スタッフの接遇への満足度		82%	81%	

#### 10. 大和市渋谷学習センター

(1) 年間来場者数		280,000人	255,754人	
(2) 施設稼働率		50%	30.2%	
(3) 団体利用数		11,450コマ	5,732コマ	
(4) 職場体験等受入数		2回	0回	受入中止
(5) 生涯各期事業 現代的課題	実施日数	14事業/760日	13事業/1,071日	事業数は減ったが実施回数を増やしたことで多くの方に参加していただいた。
	参加者数	2,700人	3,714人	
	満足度	85%	94%	
(6) 専門的講座(やまとみらいカレッジ)	実施日数	1事業/5日	1事業/5日	参加人数に制限があったが、令和4年はサテライト会場も実施し受講環境を整える。
	参加者数	200人	92人	
	満足度	85%	88%	
(7) 地域や利用者と密接に連携した講座	実施日数	1事業/45日	中止	
	参加者数	200人		
(8) 渋谷学習センターまつり	実施日数	1事業/2日	1事業/1日	センターまつりは中止。サークルと協議の上、無観客で発表の場を設けた。
	参加者数	2,200人	無観客	
	満足度	95%	—	
(9) 地域文化振興事業	実施日数	3事業/3日	2事業/2日	
	参加者数	300人	93人	
(10) 利用者懇談会等	実施回数	2回	2回	
	参加者数	30人	26人	
(11) 研修	実施回数	5回	10回	
(12) スタッフの接遇への満足度		85%	77.3%	令和4年度に向け、全職員で来館者対応について見直しを行う。

※つきみ野学習センターについては、大規模改修工事のため令和3年4月より12月までのパフォーマンス指標となります。

#### 11. 大和市屋内こども広場

(1) 年間来場者数	150,000人	100,388人	
(2) 登録者数	18,000人	17,293人	市外の利用者登録数が全体の約6割と堅調な伸び

				であった。
(3) 各種サービスに対する満足度		90%	96%	健康チェックシート、検温の徹底、クール間清掃など衛生面を強化したことで、安心して利用できる居心地の良い施設として評価された。
(4) 屋内公園事業 (げんきっこ広場)	利用者数	69,000人	38,574人	入場制限を設けての運営だったが、トライアル事業やサプライズイベントなど、利用者目線に立った様々なイベントを開催したことで、次に繋がる足掛かりを築くことができた。
	イベント実施数	200回	104回	一部イベントの中止。
	イベント参加者数	4,500人	3,327人	リピート率の高いイベントとして定着してきたものもある。
	満足度	90%	90%	
(5) 屋内公園事業 (ちびっこ広場)	イベント実施数	365回	1回	敬老の日イベント「てがた de Magokoro」を開催。他は安全を考慮してすべて中止。
	イベント参加者数	15,000人	11人	
	満足度	90%	90%	
(6) 幼児預かり事業	利用者数	2,700人	1,450人	4月から館内以外での施設等を利用される方のおこさまもお預かりできる体制にしたことで、コロナ前の令和元年度実績より125名上回る好結果となった。
	イベント実施数	75回	45回	参加人数の制限があったが、乳幼児を対象としたリピート率の高い定番イベントを毎月3~4回実施したことで、顧客の囲い込みを図ることができ、3歳から入場できる「げんきっこ広場」へと繋がる足掛かりを築くことができた。
	イベント参加者数	1,300人	388人	
	満足度	90%	90%	
(7) 育児相談事業	相談件数	3,000人	959人	
	満足度	90%	90%	
(8) 多目的室運営事業	利用団体数	25組	3組	
	イベント実施数	130回	169回	新事業として「太極舞」「こどもヨガ」を実施。参加者から好評を得た。
	イベント参加者数	2,600人	1,302人	
	満足度	90%	90%	
(9) ボランティア確保数		10人	6人	11/3 やまのみらいまつり「出張ボーネルンド」
(10) 研修回数		12回	14回	
(11) スタッフの待遇への満足度		90%	96%	スタッフ一人一人が利用者の気持ちに寄り添いホスピタリティ溢れる行動をとることを目指し、誰からも親しみやすい施設を築くことができた。

## 2. 利用者サービスに関すること

### (1) ホール関連サービス

#### (対象施設:やまと芸術文化ホール)

##### ①基本方針

今年度は第二期1年目として「文化芸術の力で、健康で豊かな心を育て、地域・まちを活気づけます」の基本方針に則り運営をしました。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大によって、利用時間・利用人数の制限が継続し、市民にとって芸術文化活動を行うことが難しい中でも、市民の皆さまが文化芸術に関わることができるように心がけました。

文化芸術事業は、新型コロナウイルスの感染状況等を考慮した結果、中止や内容変更等も生じました。実施した事業においては、感染拡大状況にあわせた運営（席数制限、分散退場、レセプションの配置等）と感染防止対策を講じることで、安心安全にご来場いただくための方策を実施しました。

また貸館事業では、感染防止対策を講じた催事内容となるよう支援しました。コロナ禍で催事を初めて行う主催者も多く、席の配置や整列の方法などを提案し、主催者の不安に寄り添うような対応を心掛けました。また、利用時間や利用内容に制限がある時には、ご理解いただけるように丁寧な対応を心掛けることで、大きなトラブルもなくご利用をいただくことができました。

##### ②サービス提供に関する取り組み

###### 1) 柔軟なサービス提供

###### ア) 利用者に合わせてサービスの展開

障がいをお持ちの方やご高齢の方へのきめ細かい配慮を心がけました。聴覚障がい者と筆談機で会話した経験から筆談ボードを増設し、よりコミュニケーションが円滑に図れるようにしました。

###### イ) 感染症予防対策

感染症予防対策として、アルコール消毒液の設置やアクリルパネルの貸し出しを行いました。また、施設管理会社と連携し、適切なタイミングでホール内の清掃や消毒を行いました。加えて催事が円滑に行われるように検温器機能付き消毒液を導入し、開場時の検温消毒でお客様が密にならないようにしたことで、お褒めの言葉をいただくことができました。

###### ウ) スタッフの教育研修

利用者との接点が多い受付スタッフを対象とした研修、事務所スタッフを対象とした研修を実施しました。専門的な質問にも対応できるように舞台のスタッフによる研修も実施しました。また、障がいをお持ちの方やご高齢の方に正しい知識で接遇できるように、外部から講師を招いてサービス介助基礎研修を実施しました。

###### 2) 利用・鑑賞に対する支援について

###### ア) 利用者ニーズを汲んだ対応

窓口でチケットをご購入いただく際にわかりやすく、かつ納得してご購入いただけるように現在の空席がわかるモニターを設置しご案内しました。また、ホールのご利用に際して、不安なことがなく安心して利用ができるよう、ご要望があれば施設の下見対応を行いました。下見の日程がご都合と合わない場合には、ホームページに掲載した施設紹介動画をご紹介します。

###### イ) 主催公演におけるレセプションの配置

主催公演時には、ホールスタッフが中心となり、レセプション(案内スタッフ)として対応しまし

た。チケット購入から本番のご案内業務までホールスタッフが一貫して対応することで、事業内容以外のお問合せに対しても、スムーズに対応することができました。感染防止対策も昨年から継続し、お客様が安心して公演を楽しめる環境づくりに努めました。

#### ウ) 主催公演での託児サービスの提供

今年度は19時以降に終了する該当公演は1公演ありましたが、利用実績はありませんでした。今後もサービスを継続し、19時以降に終了する場合は、屋内こども広場と連携して鑑賞しやすい環境を整えます。

### ③事業報告

#### 1) 事業方針及び事業内容

##### ア) 貸館事業

貸館事業における基本方針は、施設稼働率の向上、市民の文化芸術活動の裾野拡大とレベルアップを掲げました。今年度は施設紹介動画、3D施設紹介システムを導入しています。下見ができない方や遠方の方に活用いただくことにより、バーチャル空間ではありますが、施設の下見ができるようになりました。また、展示目的で利用いただくギャラリーは会議利用を希望するお客様の声を受け、利用用途の拡大について検討し、令和4年度より会議や講習会などでも利用いただけるようにしています。

##### a) オンライン施設紹介動画

メインホール、サブホール、ギャラリー、マルチスペースの計4か所を3Dで撮影し、ホームページ上に掲載しました。遠方で来館できない方や利用があって見学できない方のニーズに応えるために、3D映像に加えてスケール機能も準備し、施設の紹介に役立てることができました。

##### b) 動画制作のサポートサービスの展開

オンラインでの開催等が頻繁に行われるようになり、お客様自身で動画制作等が可能になったため、ニーズがなくなったと判断し計画を中止しました。

##### c) キャッシュレス化の推進

キャンセルの際の還付金を一律現金で返金していましたが、利用者の利便性向上のため振込返金できるように運営体制を変更しました。

##### d) 個人利用を支援する取り組み

メインホールの空き区分を利用し、ピアノ体験会を実施しました。アンサンブルでの利用を可能にしたことで、ピアノだけでなく楽器の演奏者からの申し込みもあり幅広い利用者に活用いただくことができました。

##### イ) 文化芸術事業

「芸術鑑賞事業」では、第一線で活躍しているアーティストによる公演、また、幅広い世代に楽しんでいただくため、様々なジャンルの公演を開催しました。「創造活動支援事業」では、市民が主役となるコンサートやハンディキャップのある方にも文化芸術を楽しんでいただくバリアフリーコンサート、「人材育成事業」では、年齢にあわせた文化芸術プログラムを開催しました。「連携事業」では、市やシリウス内他施設と連携した企画を実施しました。4つのカテゴリーでさまざまな文化芸術事業を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、公演中止や企画内容等の見直しが必要となった事業は、代替公演の実施や企画内容の再構築を行い、文化芸術と市民の接点を確保することに努めました。



〇令和3年度やまと芸術文化ホール 文化芸術事業

芸術鑑賞事業				
日付	会場	事業名	内容	入場者数
7/10	メインホール	第九上映会 (企画変更)	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い公演会場へ行く機会が減る中、少しでもその雰囲気味わいたいとクラシックファンが集い、迫力の映像を楽しんだ。久々の演奏会というお客様も多く、満足度の高い上映会となった。	178名
8/8	メインホール	仲道郁代「不思議ボール」	人気絵本作家の長谷川義文さんのイラスト、仲道郁代のピアノ演奏とお話を交え、親子向けのコンサートを開催。客席は半数に制限されていたが、親子で参加できる貴重な時間の創出につながった。	417名
9/12	メインホール	マリコとオペラ! ～作家・林真理子のトーク・コンサート～ (企画変更)	作家の林真理子が数あるオペラ作品から厳選した曲を紹介し、オペラ歌手の演奏とトークを交えたオペラ初心者から愛好者までが楽しめるコンサートを開催した。コロナ対策として、“Bravo!”と書かれた紙を配布し、お客様の感動を奏者へ伝える演出を加えた。図書と関連した林真理子の出演もあり、芸術文化の裾野を広げる機会となった。	483名
10/9	メインホール	山中千尋プレミアム・ジャズ・ライブ ～ジャズの巨匠チック・コリアを偲んで～ (企画変更)	チック・コリア急逝による、代替公演として実施。同じレーベルに所属し交流があった山中千尋を招聘し、チック・コリアにゆかりのあるプログラムとチック・コリアへの想いなどの話を交えた大和だけの特別公演を開催した。市外からのご来場者も多く、市外へのプロモーションにも繋がった。	536名
11/3	メインホール	大和市文化創造拠点シリウス 開館5周年記念事業 小野リサ コンサート 2021 Love Joy and Bossa Nova	開館5周年を祝う記念事業として、世界に誇るボサノヴァシンガー小野リサによる公演を開催した。出演者の知名度の高さと、癒しのボサノヴァの音楽を求めて多くのお客さまがご来場され、完売公演となった。来場者の満足度もとても高く、やまとみらいまつりに花を添えるコンサートになった。	888名
12/18	メインホール	落語フェスタ やまと寄席 ～其の六～ ①《輝きの会》 ②《極みの会》	今後の活躍が期待される二つ目の落語家と講師による《輝きの会》。名実ともに兼ね備わった落語家たちによる《極みの会》を実施した。どちらの会も、年忘れらしい熱演が繰り広げられ、多くのお客様に笑顔を届ける会になった。	①102名 ②551名
12/19	メインホール	「第九」上映会	7月に続き、2回目の上映会を開催した。年末の風物詩「第九」を鑑賞するため、クラシックファンだけでなく、親子連れの方も多く見受けられた。	184名
1/23	メインホール	やまとシアター ① サウンド・オブ・ミュージック ② 風とともに去りぬ	市民のニーズが高い映画上映会を開催。ホールで選んだ「サウンド・オブ・ミュージック」と来館者投票により選ばれた「風とともに去りぬ」の2本を上映した。コンサートとは異なるお客さまが	443名

		(企画変更)	多くご来場されるきっかけにつながった。	
3/22	メインホール	イブニングコンサート (企画変更)	新進気鋭の奏者として注目を集めるギターの徳永真一郎とヴィオラの飯野和英に出演いただき、名曲ぞろいのプログラムのコンサートを開催した。平日夜の開催のため、スーツ姿の方や学生服の方など、普段の公演ではあまりご来場されない方々も多く足を運んでいた。	297名
2/26 2/27	メインホール	KAAT カナガワ・ツアー・プロジェクト 第一弾『冒険者たち～JOURNEY TO THE WEST～』	【公演中止】	

創造活動支援事業				
日付	会場	事業名	内容	入場者数
4月 ～ 5月	メインホール	スタインウェイピアノで私だけの演奏会を体験しよう	メインホールの空き区分を活用し、スタインウェイピアノ(D-274)を演奏できる体験会を実施。ピアノの発表会を控える親子や、コンクールを目指す社会人など、スタインウェイピアノの演奏を楽しんでいた。	39名
6/26	メインホール ホワイエ	市民がつくるコンサート Vol.1	大和市で音楽活動を行う市民や文化団体などを対象に一般公募し、初回は「ヒストリカル・ハープとギター」「ギターデュオ」の2団体が出演した。メインホールホワイエにステージを組んで、両団体とも久々の本番の緊張の中、精一杯演奏を披露し、お客様からは温かな拍手が贈られた。	54名
8/22	サブホール	みんなの音楽会 Vol.1 ～鶴木絵里 ソプラノ・コンサート～	バリアフリーの取り組みとして、①手話通訳者の手配 ②難聴者支援システムの活用 ③車いす、ベビーカーのまま鑑賞できるエリアの設定 ④サービス介助士の有資格者の配置など、鑑賞サポートを行った。絵本と音楽の企画や本格的なクラシック演奏など幅広いプログラムを取り上げ、健常者と障がい者との相互理解の第一歩となる企画を開始した。	106名
2/6	メインホール	市民がつくるコンサート Vol.2	第二回は会場を変更し、ハンドベルと女性合唱の2団体が公募枠で出演した。両団体ともアットホームな雰囲気ながら、高いクオリティの演奏を披露し、お客様に素敵な音色をお届けした。	143名
3/15 ～3/31	WEB	あなたがつくる展覧会 (企画変更)	コロナ禍の新たな展覧会の実施方法として、オンラインの展覧会を行った。動画作品は全体で約25分。公募6団体(写真、チョークアート、工芸など)の作品を展示する様子、学芸員による展示アドバイスや展示替えなどで構成。学芸員からは、照明の当て方や布	219回 ※再生回数

			などを使用して背景を変えるなど、より作品を際立てる方法が提案され、参加者の今後の活動につながる企画となった。	
3/31	サブホール	みんなの音楽会 Vol.2 鷓木絵里& 中川賢一 バリアフリーコンサート	障がい者などをターゲットにした企画の Vol.2。鑑賞サポートでは、難聴者支援システム、手話通訳など前回から継続の取り組みに加え、新たな取り組みとして、点字プログラムを制作した。公演内容は、クラシックから絵本と音楽のコラボレーション作品、ピアノ・ソロなど、幅広い年齢層にあわせた曲選定を行い、誰もが楽しめる音楽のバリアフリーにも取り組んだ。	122名
9月	メインホール マルチスペース	佐々木三夏 バレエワークショップ+成果発表会	【公演中止】	

人材育成・普及事業				
日付	会場	事業名	内容	入場者数
6/25 6/28	メインホール	養成講座	大和市立深見小学校と連携し、小学3年生を対象とした養成講座を開催した。「ホールを知る」講義、「ステージ上で演奏する」体験、「プロのピアノ演奏で一流の芸術にふれる」鑑賞を組み合わせた内容。子どもたちの歓声や、驚き表情と、笑顔がいっぱいに溢れた。	47名
10/17	メインホール	子どものためのピアノとドラムの楽器体験! OBSESSION for KIDS ～さわって楽しむ音の世界～	ピアノとドラムの楽器体験を未就学児と小学生以上と対象を分けて開催した。初めての体験をより特別なものにしたということから、メインホールの舞台上で実施。楽器に触れる・聞く・演奏するを通じて、徐々に笑顔へ変わっていく子どもたちの表情を見て、音楽の素晴らしさを改めて再認識する楽器体験会となった。	36名
10/31	メインホール	ピアノマスタークラス	メインホール舞台上でプロの演奏家から指導を受けることができるピアノ公開レッスンを開催した。音源審査を通過した小学生～大学院生までの4名が受講。聴講生も募集し、受講生、聴講生ともに、音楽の奥深さを知る機会となった。	受講者: 4名 聴講生: 50名
1/11 1/12 1/16	メインホール	ホール de 演奏体験 ～アンサンブル編～ (企画変更)	「メインホール」で演奏体験ができる事業を実施。ピアノ・ソロやクラリネットとピアノのアンサンブル、ギターソロなど、多岐にわたるジャンルの方々が音楽演奏を楽しまれた。	13名

連携事業				
日付	会場	事業名	内容	入場者数
2/13	メインホール	防災講座&ミニコンサート	大和市危機管理課とシリウス防災センターと連携した企画。演奏中には地震	132名

		(企画変更)	発生を想定したシェイクアウト訓練に変更し、お客様にも身を守る行動をとっていただいた。公演は、オペラのアリアから日本歌曲までの幅広い演奏プログラムと防災講座により、日常生活における防災意識の醸成につながった。	
3/5	サブホール	ことばと音楽で楽しむあべこべの世界 【午前】あべこべのお話～三びきの子ふた 【午後】あべこべのお話～赤ずきんちゃん	図書関連企画として、題材選定から脚本制作、舞台演出まで、やまと芸術文化ホールのオリジナル企画として制作した。中嶋朋子の演技と、それを即興で彩る加藤昌則のピアノ演奏の構成で、午前は子ども向け、午後は大人向けと内容を大きく変え、幅広い年齢層に楽しんでいただける朗読劇コンサートになった。	【午前】 168名  【午後】 152名

#### ウ) 市民参加型事業

##### a) アンケートの実施と分析

自主事業実施時にはアンケートを実施し、来館者の属性を公演ごとに分析を行いました。また、公演に関する感想やサービスに関するご意見などもお聞きし、公演時のコロナ対策やチケット販売時のご案内方法などにも活かしました。

##### b) 市民ボランティア活動の推進

市民ボランティア制度は、指定管理者やまとみらいの活動として令和4年度から詳細計画を立案することとなりました。

##### c) 友の会運営の充実

今年度の友の会会員は417名増加し、6,840名となりました。

友の会チラシの配布、広報紙での会員告知、また、当日プログラムへの会員募集の掲載など周知に努め、継続的な入会促進活動を行いました。会員特典のメールマガジンは、月に3回程度配信。月初めには、公演ピックアップとして見どころを配信し、チケット発売前には会員向け情報などを配信するなど、メールマガジンの活用を推進いたしました。

#### エ) 情報発信事業

文化芸術事業の情報が市民に広く行き渡るよう、これまでどおり、ホールのイベント情報を掲載した「ステージガイド」の発行、また、ホームページやフェイスブックなどを活用し、情報発信に努めました。さらに、今年度から新規情報発信ツールとして、Instagramの運用も開始し、これまで以上に幅広い世代へ情報を発信しています。

##### a) ステージガイドのリニューアル

ホールのイベント情報を掲載した「ステージガイド」を年3回(6月、10月、1月)発行しました。文化芸術事業の公演情報とともに、出演者インタビューや担当者コラムなども交え、わかりやすい情報発信を行いました。また、ホール広報紙として施設利用の情報を裏面に掲載し、施設利用につなげる工夫をしました。

本紙は、館内、市役所、市内公共施設、近隣商店街などへ配架するとともに、市内に配達される新聞5紙への折り込み、ホームページへの掲載やSNS(フェイスブック、Instagram)など、デジタルコンテンツでの情報提供も行いました。

##### b) ホームページの充実

これまで通り、催事内容の詳細やチケット発売情報、見どころなど随時更新を行い、常に最新の情報を発信しました。また、出演者インタビューや、担当者コラムなどを掲載するとともに、開催時にあわせて、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の情報提供を行い、安心してご来場いただけるよう周知に努めました。

また、公演告知情報をより多くの方にご覧いただけるよう、ファクトリーページとの連携を推進しました。加えて、SNS や QR コードなどを活用、情報が充実しているホームページへの誘導を行うなど、メディア同士のつながりを重視した情報発信を行いました。

#### c) ソーシャルメディアからの発信

中高年層がメインに使用するフェイスブック(シリウス)に加え、今年度より若年層をターゲットにInstagramの運用を開始しました。タイムリーな情報発信、ハッシュタグの活用により、ターゲットが情報に辿り着きやすいよう工夫も施しました。

#### d) 大和駅でのホールイベント専用掲示板の活用

小田急電鉄大和駅構内のポスターボード(2面)の利用を今年度も継続し、駅を利用する方たちへ対して、ホールで開催する文化芸術事業の情報を告知し、来館促進につながるよう努めました。また、ポスターボードに仮設のチラシボックスを設置し、公演チラシの配架を行いました。

#### e) 新聞、業界専門誌、ウェブ媒体への情報掲載

文化芸術事業の開催にあわせて、近隣エリアや全国エリアのメディア、専門誌に対し、プレスリリースを配信しました。また、ニュースサイトや、イベントサイト、専門ウェブサイトなどへの情報掲載を積極的に行い、市外へ広く情報を周知しました。また、合同記者会見の開催や出演者インタビューなど、ニュース性の高いトピックスをリリースにも加えるなど、より多く情報掲載につながるための工夫を行いました。

その成果として、「第九上映会」と「マリコとオペラ!」では音楽専門誌「ぶらあぼ」において、出演者インタビューや、公演実施報告が掲載されました。また「あべこべのお話」では、ホールのオリジナル公演という企画性が注目され、神奈川新聞に出演者インタビューが掲載されるなど、市内外への情報発信へつながりました。

#### f) 地元媒体誌への文化芸術事業の情報掲載

地元メディアとの広報連携として、FM やまもでは公演担当者が番組へ出演し、事業の見どころや企画の裏話などを交えたエピソードを披露した。またタウンニュースでは、公演の内容をわかりやすく紹介した広告や、パブリシティでは、出演者インタビューが取り上げていただくなど、文化芸術事業が身近に感じるような広報を行いました。

## 2) 実施体制

芸術文化ホールでは、貸館事業を担う運営部門、文化芸術事業を担う事業部門を設置し、円滑なホール運営を行いました。また、芸術文化ホールの広報部門がやまとみらい全体広報を担いました。舞台設備管理は㈱シグマコミュニケーションズへ委託しています。

## ④利用規則

### 1) 施設利用の公平性

施設の空き状況等、利用に関する情報発信については、すべての方へ情報が同時に行き届くよう、ホームページを活用した発信を行いました。

## 2) 利用規則

事業計画に則り行いました。

## 3) 利用料金

事業計画に則り行いました。

## ⑤ 人員体制

事業計画に則り行いました。

## ⑥ 舞台設備管理

舞台設備は舞台管理の専門会社である㈱シグマコミュニケーションズに委託し管理を行いました。

プロ・アマチュアを問わず、すべての利用者に寄り添い、安全・安心な舞台を提供するべく舞台全般の安全管理に努めました。

### 1) 設備機器の安全確保

舞台技術スタッフによる日常点検の実施、及び各専門会社に保守点検を再委託する事により機材や舞台設備を常に良好な状態に保っています。

#### ア) 舞台技術スタッフによる日常点検・保守点検

利用開始前に目視による状態確認、機器の動作音や動きの異常有無確認、動力部の異臭確認等の各種点検を実施。不具合や異常を発見した場合は迅速に初期対応を行い、各専門会社と連絡を取り安全に使用できるよう努めています。

#### イ) 専門会社による保守点検

保守点検は、音響、照明、舞台、客席の専門会社に再委託しております。日常点検・保守点検や日常の設備操作を通して不具合や異常箇所の状況を把握し、専門会社への情報共有を行いながら、保守点検時に不具合箇所の重点的な点検を依頼しています。

### ■ 定期保守点検 年間実施状況

下表のとおり定期保守点検は計画通り実施しました。

設備	4月	5月	6月	7月	8月	9月				1月	2月	3月
音響・映像設備 メインホール				5-7						26- 27		
音響・映像設備 サブホール				14- 15						24		
照明設備 メインホール						6-8						7-9
照明設備 サブホール						15- 16						14- 15
舞台機構 メインホール		6			25- 26			16- 17			7	
舞台機構 サブホール		6			26			10月	11月	12月	7	
客席 メインホール					26						7	
客席 サブホール			10							19		

※定期保守点検は、各設備の専門会社に再委託します。

## ■ピアノ調律・点検 年間実施状況

年間計画に沿って調律・点検を実施しました。日程に関しては下表のとおりです。

設備	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
フルコン1 YAMAHA CFX	7		6		19保		4		13		24	
フルコン2 YAMAHA S4B	7		9		18保		4		13		24	
グランド STEINWAY D- 274	6		9		18- 19保		6		13		24	

※ピアノの調律・保守点検は、専門会社に再委託しました。

### 2) 設備機器の長寿命化

専門業者と連携して舞台設備機器の修繕計画を更新しています。

現状の機器コンディションや保守点検結果を基に優先順位をつけた更新提案をしました。

### 3) 事故の未然防止

法令改正に伴い、ホール内で高所作業に該当する箇所についての調査を実施しました。

サル梯子への墜落防止器具(安全ブロック)の設置や、フロントサイドスポット室内にランヤードフッキング用短管の設置を行い、法令を遵守した安全対策を講じました。

また高所作業を行う利用者様(外部業者)にもわかりやすいよう高所作業に該当する箇所への案内表示の掲出や、ご利用前の文章による周知も実施しました。

その他、日常点検・保守点検による安全面の確保と併せ、利用状況により変化する危険箇所や機器の不具合・異常等の情報共有をスタッフ間で行い事故防止に努めました。

### 4) 舞台安全マニュアルの活用

舞台操作に係る事故の未然防止策の基本となる舞台安全マニュアルを常に見直し、日々の業務運営に活用しております。

今年度は新たに高所作業リスト・高所作業マニュアルを作成しました。

### 5) 研修によるスタッフの育成

労働安全衛生法施行令の一部改正による墜落制止用器具(フルハーネス型墜落制止用器具)の特別教育(安衛則第36条、特別教育規程第24条)を受講し、舞台スタッフ全員が修了証を取得しました。

また、引き続きコロナ禍により集合研修が難しい状況であったため、オンライン研修等を実施しました。一例として「ゼンハイザーワイヤレスマイクシステム」についての研修を受講するなど、新しい機材の知識を得るとともに技術の向上に努めています。

## (2) 図書館関連サービス

(対象施設:大和市立図書館、大和市立中央林間図書館、大和市立渋谷図書館、各地区学習センター図書室)

### ① 基本方針

「図書館城下町」と「健康都市」という2つの大きなテーマの実現のために掲げた、以下の5つの行動指針を、適切に推進実行しました。新型コロナウイルス感染拡大防止としては、来館者に安心安全にご利用いただくため、スタッフのマスク・手袋の着用、館内の消毒や換気を徹底しました。

○幅広い世代の人が読書に気軽に親しめる環境づくりを実現します

- おひとりさまや高齢者の方にも居心地の良い、第3の居場所を提供します
- 図書館の本質的機能である情報、資料の収集と提供の充実を目指します
- 電子図書館を「天空の出城」と位置づけ、新しい読書環境を提供します
- 安心安全な管理運営を実現します

## ② サービス提供に関する取り組み

公共図書館の役割を理解した上で、すべての利用者に平等で公平なサービスを提供しました。

### 1) 日常的なサービス提供

すべての来館者に快適にご利用いただくために、接遇の向上を心掛けました。また個人情報保護については、Pマーク研修や社内監査を実施し適切な管理に努めました。

### 2) 民間のノウハウを活かしたサービス向上

仕様書・提案書記載事項を計画に基づき遂行することを最低限のノルマと心得ていますが、一部業務においてはコロナ禍の影響もあり、実施することができませんでした。楽しみにお待ちいただいている利用者のためにも、全サービスの再開に向けての準備を進めます。

また、カウンターやフロアでの接客スキルやレファレンス能力の向上には、聞く力と利用者の要望を推察する力が求められます。こうしたコミュニケーション能力の向上のための研修にもさらに力を入れてまいります。

### 3) 様々な利用者が利用しやすい環境づくり

SDGsに象徴されるように、多様な利用者への対応は図書館にとっても重要な課題です。各種講座の実施にあたってこうしたことを意識し、すべての利用者にとって快適な環境づくりに努めました。

## ③ 事業報告

### 1) 事業方針及び事業内容

図書館に関心や親しみを持っていただくため、また様々なことへ興味を抱ききっかけづくりとして、多様な事業を実施することで読書活動推進に努めました。

令和3年度の主たる事業として、図書館システム機器更新、つきみ野学習センター図書室改修に伴う休室がありました。機器更新は10月25日に実施し、図書館システムは停止したため一部サービスの制限は行ったものの、図書館は開館し利用者へのサービス提供を実施しました。つきみ野学習センター図書室の休室は12月29日から実施、つきみ野学習センター図書室の利用者が、近隣の中央林間図書館に多く流れ繁忙につながりました。

#### ア) 大和市立図書館

大和市が進める「健康都市 やまと」の実現や「子ども読書活動推進計画」に謳われる子どもの読書推進のため、健康意識の啓発や関心を高める事業や子ども向け事業などに取り組みました。

#### α) 各種事業

事業名	内容
読書をテーマにした事業	「子育て応援!オンライン講座 親子で楽しむこどもの読書週間」「ひとはこ図書館」などの事業を開催。
映画会	7回実施。大人から子どもまで楽しめるよう幅広い映画を上映。合計180名参加。
バリアフリー映画会	障がいがある方にも一緒に映画を楽しんでいただく機会を提供した。2/13に開催。上映作品は『東野圭吾ドラマシリーズ“笑”』。32名参加。



ティーンズ世代向け事業	ティーンズ世代に読書や図書館に関心を持ってもらう機会となる事業を企画した。「医療と運動の専門家『理学療法士』の仕事紹介」、「ORIMAME」など。
-------------	---

b) 展示コーナー等の運営

事業名	内容
テーマ展示	「平和」や「オリンピック」など、時事や時節を意識したテーマで、本との出会いや、関心の喚起を演出できる展示を行った。
小説をよもう展示	新たな作家や物語を手取るきっかけとなる展示を行った。「本屋大賞」「スポーツを読もう」「向田邦子」など。
こども図書館展示	子どもの関心を喚起するような展示に加え、子育てに役立つ特集も行った。
ティーンズ展示	ティーンズ世代ならではの話題をテーマに、読書への関心を喚起する展示を行った。装丁に着目したシリーズ展示「colors」など。
健康コーナー展示	感染症予防など時事に即したのものなど幅広いテーマで実施した。また、健康コーナー前のベンチにて、行政との連動展示を継続中。
音楽配信	ナクソス・ミュージック・ライブラリーの音楽配信サービスを提供した。

c) 児童サービス

事業名	内容
家読を推進する事業	家読への関心や読書を推進するための事業を企画。「触れる地球ワークショップ」「夏休み読書チャレンジ!本をさがして!よんで!ピンゴ!」「読み聞かせと折り紙教室」「親子 de 秋の図書館見学ツアー」「ドキドキ!中身はお楽しみ!図書館福袋」の5事業で27回実施し、675名の参加があった。
ブックスタート事業	市の4か月健診で実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、読み聞かせや参加者への案内は休止しているが、絵本の紹介POPを作成するなどの工夫を行っている。1,798組参加、3,596冊配布。
おはなし会・出張おはなし会の実施	図書館員、ボランティアによるおはなし会を当館、保育園で定期的実施した。計130回、1,919名参加(1回平均15名)。
ブックリストの作成・配布	子どもの年齢に合わせた本を紹介する『ちいさな図書館vol.5小学生向けブックリスト「チャレンジ」』を作成、過去のリストと合わせて配布した。
こどもとしゃかんだよりの作成・配布	本や読書に関心を持ち、こども図書館をより知っていただくために発行し、配布した。年3回発行。
調べる学習地域コンクール開催	調べる学習の成果を発表する場として、「第4回大和市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催するとともに、講座を実施し子どもたちの支援を行った。応募作品総数7,090点。全国コンクールへの推薦作品72点のうち、2点が優良賞、3点が奨励賞を受賞した。
一日図書館員	図書館員の仕事を体験する機会を提供する。7/26(月)、29(木)、8/2(月)に実施。合計46名参加。
団体向け児童書リサイクルフェア	6/4(金)、図書館で不要となった児童書を団体に向けて提供した。42団体66名参加。
市民まつりへの出展	5/8(土)、9(日)、子ども読書活動推進会議との連携により実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。
読書フェスティバルへの参加	地域や学校とともに本や読書に親しむ場を提供する。11/20サブホールにて読書感想文コンクールと図書館を使った調べる学習コンクールの入賞者の表彰を行った。
子ども読書活動推進講座	「読書感想文講座」など、読書活動を推進する講座を実施。百科事典の使い方を楽しく学べる「ひゃっか王からの挑戦状」なども開催した。

d) ボランティアの育成・連携

事業名	内容
おはなし会の協働	市が選定したボランティア団体との協働によるおはなし会を開催した。「おひぎでだっこのおはなし会」(第1火曜日)、「みんなでたのしむおはなし会」(第2水曜日)、「親子で楽しむおはなし会」(第4水曜日)。
ボランティア育成	読み聞かせボランティアを育成する講座を実施した。入門編(全2回)、ブラッシュアップ編(全3回)、ストーリーテリング(全3回)の全8回開催し、113名が参加。昨年に続き、乳幼児編は中止となった。
ボランティア交流	読み聞かせボランティアやブックスタートボランティア同士が情報交換を行える会を開催した。10/11(月)読書推進ボランティアのつどい。8名参加。3/8(火)実施。

e) 団体・学校向けサービス

事業名	内容
団体貸出	地域の機関や団体へ向けて資料の貸出を行った。図書 32 件、4,040 冊、視聴覚 23 件、30 点の貸出があった。
学校貸出	学校へ向けて資料の貸出を行い、授業を支援した。計 6 件、233 冊の貸出。昨年度のような市内全小中学校への貸出が実施できなかった。絵本のまち事業と合わせて、利用しやすい環境整備を検討したい。
施設見学対応	学校からの施設見学を受け入れ、図書館について知っていただく機会を提供した。8 件、189 名。
職場体験等対応	市内中学校の職場体験と教職員の社会体験研修は中止となったため少ない件数となった。大学生の図書館実習など 3 件、9 名。

f) 健康情報サービス

事業名	内容
健康コーナーの運営	分類にとらわれない幅広い資料を収集し、分かりやすい配架を行い、健康や医療に関する資料や情報を提供した。
疾病別ラベル・出版年ラベルの貼付	1冊ごとに「疾病別ラベル」と「出版年ラベル」を貼付した。
健康・医療に関するレファレンス	健康コーナーの情報では解決できなかった場合や、さらに情報が必要な場合は、調査の支援を行った。健康レファレンス 97 件受付。
健康イベント	健康や医療に関するイベントを企画した。健康テラス事業は 239 回実施、2,841 名参加。
認知症に関するイベント	人生 100 年推進課との連携事業、イオンモール大和での「認知症キッズサポーター養成講座」や「回想サロン」など、認知症について理解を深めるイベントを企画したほか、アルツハイマー月間に合わせた展示も行った。
健康情報サービスの発信	健康に関する情報提供や健康情報サービスを知っていただくために広報誌を作成、配布した。
健康度見える化コーナー	健康度見える化コーナーを管理・運営した。

イ) 大和市立中央林間図書館

令和 3 年度事業計画書においては、市北部における読書拠点として中央林間図書館の特色を活かした魅力的な事業を展開する計画を定めました。この事業計画に基づいて各種の事業を実施し、図書館の利用促進および利用者満足度の向上を図りました。

a) 各種事業

i) カフェとの連携事業

隣接する星乃珈琲店との連携企画として、これまで行っていた「作家の机」「ブックレビュー」に加えて、星乃珈琲店絵画コンテストの受賞作品を館内に展示しました。期間中は立ち止まって作

品に見入る利用者も多く、身近で美術作品に触れる機会を提供することで好評をいただきました。

日付	会場	事業名	内容
9/1 ~11/30	館内フリースペース	星乃珈琲店絵画コンテストの受賞作品展示	星乃珈琲店絵画コンテスト受賞作品の中から『星のこども賞』の受賞作品を展示。
通年	星乃珈琲店内	作家の机	星乃珈琲店の利用者にふさわしい作家/テーマの本を展示。年4回展示替え。
通年	館内/星乃珈琲店内	ブックレビュー	星乃珈琲店の閲覧用図書の中から選定した図書のレビューを図書館で作成。星乃珈琲で印刷。年4回発行。

ii) 中央林間東急スクエア店舗との連携事業

- ・2階店舗「無印良品」との連携事業を企画、検討しました。新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年度中は実施に至りませんでした。令和4年度4月にコラボレーションイベント「図書館バックを作ろう!」を開催予定です。
- ・2階店舗「VERY VERY」と連携して館内各所に観葉植物を設置し、利用者にとって居心地のよい空間となるよう館内を彩りました。

iii) つる舞の里歴史資料館との連携事業

つる舞の里歴史資料館の企画展と連携したテーマ展示を実施。多くの利用者に地域の歴史に目を向ける機会を提供するとともに、両施設の利用促進を図りました。

日付	会場	事業名	内容
1/2~ 1/31	館内メインエントランス/平台	企画展示「身近な歴史に目を向けて」「紡がれる工芸の世界」	大和市つる舞の里歴史資料館の企画展「金子コレクション 幕末・明治の輸出工芸品~和の伝統は海を越え人々を魅了した~」との連携事業として、大和市の歴史や養蚕などの地場産業に関する資料や古写真等を展示。

iv) 健康関連講座

利用者にとって関心の高いテーマを選定し、以下の講座を開催しました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
7/29	イオンモール大和	認知症キッズサポーター養成講座	小学生を対象に人生100年推進課主催で開催。図書館は寸劇・紙芝居・関連本紹介で協力。	8名
12/13	ポラリス	終活講座「難しくない終活をやってみたいかが」	大和市おひとり様政策課の終活コンシェルジュを講師に迎えて終活講座を開催。	12名
3/19	ポラリス	食講座「忙しいあなたも、ちょっとした工夫で体の中からキレイに」	大和市健康づくり推進課の管理栄養士を講師に迎えて食に関する講座を開催。	11名

v) 障害者支援施設との連携事業

「開館4周年記念品配布」令和4年4月1日~6日

「障害福祉サービス事業所あるむ」で作成したちぎり絵付きレターセットを利用者に配布しました(1500個)。

vi) タブレット端末活用講座

新型コロナウイルス感染拡大の影響で学習室の利用が制限されたため、講座という形では開催できませんでしたが、タブレットによるデータベース利用促進のため、当館 Facebook にて【データベースのご紹介】のページを立ち上げ、「ポプラディアネット」「ジャパンレッジ」「ブリタニカ・オンライン・ジャパン」等の紹介投稿を 6 回にわたって行いました。オリジナルキャラクターによるストーリー仕立ての紹介となっていて、ターゲット層に関心を持って読んでもらえるような工夫を凝らしました。

vii) おはなし会の開催

「おはなしのひろば 中央林間図書館」

市民交流拠点ポラリスと連携したおはなし会を月 1 回開催しました。おはなし会を通して特に小さな子供たちの読書への関心を高め、図書館を利用するきっかけを作ることに努めました。

※6 月から 10 月にかけてはポラリスがワクチン接種会場となったため館内でミニおはなし会を開催。8 月と 9 月は緊急事態宣言のため、中止。

実施日	参加人数			備考
	子ども	大人	計	
4/24	10 人	8 人	18 人	
5/22	11 人	7 人	18 人	
6/26	4 人	3 人	7 人	館内でミニおはなし会
7/24	3 人	3 人	6 人	館内でミニおはなし会
8 月	中止			
9 月	中止			
10/23	3 人	3 人	6 人	館内でミニおはなし会
11/27	14 人	12 人	26 人	
12/18	10 人	13 人	23 人	クリスマススペシャル
1/22	9 人	11 人	20 人	
2/26	7 人	8 人	15 人	
3/26	9 人	5 人	14 人	
計	80 人	73 人	153 人	

b) 展示コーナー等の運営

月ごとにテーマを決め、メインエントランスとプラットフォームを使ったテーマ展示を行いました。季節やトレンドを意識したテーマを選定し、利用者と本との出会いを演出するとともに、“図書館の顔”として来館者の目を引くような展示を心がけました。

5themes ではタイムリーなテーマを 5 つ選定して短期間で展示していますが、2 月からは SDGs の 17 のゴールに関する図書を順番に展示しています。

月	場所	展示テーマ
4 月	メインエントランス	香
	プラットフォーム	春風の候 / 5themes
5 月	メインエントランス	いただきます
	プラットフォーム	どうぶつがでてくる本/健康第一 / 5themes
6 月	メインエントランス	ありがとうお父さん
	プラットフォーム	Raindrops Keep Falling On My Head / 5themes
7 月	メインエントランス	どこか懐かしい
	プラットフォーム	スポーツの日 / 課題図書 / 5themes

8月	メインエントランス プラットフォーム	We never worry alone 雲 / 平和 / 昭和の暮らし / 課題図書 / 5themes
9月	メインエントランス プラットフォーム	時空を超えて 遙か未来の君たちへ オレンジライトアップ / 自殺予防週間 / 5themes
10月	メインエントランス プラットフォーム	いろいろな「かく」 日本の伝統文化 / 5themes
11月	メインエントランス プラットフォーム	Colorful つる舞の里関連/気ままに楽しくおひとりさま/5themes
12月	メインエントランス プラットフォーム	うみをゆく船 鉱物はお好きですか? / 5themes
1月	メインエントランス プラットフォーム	身近な歴史に目を向けて 紡がれる工芸の世界 / 5themes
2月	メインエントランス プラットフォーム	はじめのドア 雪 / 5themes
3月	メインエントランス プラットフォーム	衣 The proof as human being 体の中からキレイに!/ 自殺予防週間 / 5themes

c) その他

i) 子育て応援コーナーの設置

利用が増加する子育て世代のニーズに対応するため、今まで分散していた妊娠・出産・子育てといった図書を集約した「子育て応援コーナー」を新設しました。大和市内の子育て支援に関わる情報を集めたファイルも用意し、子育てに関する様々な情報が得られるコーナーとして好評をいただきました。

ii) 新区画のオープン

3月より新区画がオープンとなりました。これまでも利用者から閲覧席の拡充を求める意見は多くあがっていましたが、今回の増床により利用者の混雑も緩和傾向となり、多くの方に利用していただいています。

ウ) 大和市立渋谷図書館

市南部地域に根差した様々な世代や背景を持つ利用者の読書活動拠点を目指し、各種事業を計画・実施しました。実施にあたってはパーテーションの設置や密を避けるなどの感染防止対策を講じ、手指消毒や検温などにもご協力いただき上で、安心・安全に参加していただくことを心掛けました。

a) 各種事業

i) おはなし会の開催

新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら、月2回(第1土曜日:乳幼児向け、第3土曜日:小学生向け)の定例おはなし会を開催しました。また、ぬいぐるみと一緒に参加するおはなし会などのスペシャル版おはなし会を季節ごとに開催し、読書活動や図書館をより身近なものと感じられるように努めました。

月	回数			参加人数			備考
	定例	その他	計	子ども	大人	計	
4月	2回	—	2回	10人	7人	17人	
5月	2回	1回	3回	21人	17人	38人	春のスペシャルおはなし会
6月	2回	—	2回	8人	5人	13人	
7月	2回	—	2回	21人	13人	34人	

8月	2回	1回	3回	25人	18人	43人	夏のスペシャルおはなし会
9月	2回	—	2回	14人	8人	22人	
10月	2回	—	2回	14人	7人	21人	
11月	2回	1回	3回	23人	16人	39人	秋のスペシャルおはなし会
12月	2回	—	2回	19人	9人	28人	
1月	1回	—	1回	10人	4人	14人	
2月	2回	1回	3回	21人	12人	33人	ぬいぐるみといっしょのおはなし会&おとまり会
3月	2回	—	2回	13人	5人	18人	
計	23回	4回	27回	199人	121人	320人	

#### ii) ティーンズ世代向け事業の実施

新型コロナウイルスの影響もあり、ティーンズ世代が主体的となる事業は実施できませんでしたが、中高生向けのお悩み相談企画を実施しました。中高生には読書を通して悩みを解消するきっかけを得ていただくとともに、他の利用者には現在の中高生のことを知っていただく機会となりました。

展示期間	会場	事業名	内容	参加者数
3/1 ~3/31	図書館内	そのお悩み、図書館員に相談してみませんか?	中高生を対象にお悩みを募集し、解決の手助けとなるような本を選書。一言アドバイスを添えて、選んだ本の紹介 POP を作成して一緒に展示。	14人

手先を使って脳の活性化を促すイベントや認知症の予防効果が期待される回想法を用いたイベントを実施しました。9月のアルツハイマー月間には、福田南地域包括支援センターと連携して「希望の手紙プロジェクト」と関連資料の展示を実施し、認知症について身近に考え理解を深める取り組みを行いました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
7/14	渋谷学習センター310講習室	ぬり絵で脳トレ!	大人向けのぬり絵を体験して脳の活性化を図る。	6人
9/1 ~9/30	図書館内	希望の手紙プロジェクト ~認知症と出会った日の私とあなたへ~	過去・現在・未来の自分や家族など認知症に関わる人宛に手紙を書いて、認知症について考えてもらう福田南地域包括支援センターとの合同企画。	11人
10/27	渋谷学習センター310講習室	ぬり絵でポストカードをつくろう!	季節の図柄を用いた大人向けのぬり絵で、クリスマスカードや年賀状にも使えるポストカードを作成。	2人
3/16	渋谷学習センター310講習室	よみうり回想サロン 第3弾	昭和40年代の新聞記事やニュース映像を使った回想法により、脳の活性化を促進して精神的な安定をもたらす。	6人

#### iv) バリアフリー映画会の開催

9月に開催予定でしたが、上映場所の渋谷学習センター多目的ホールがワクチン接種会場となった影響で中止となりました。そのため、2月にはバリアフリー関連の取り組みを知っていただく

目的で、企画展示「図書館における読書バリアフリー」を実施しました。渋谷図書館所蔵の大活字本、点字つきさわる絵本、LL ブックの展示をはじめ、点字の読み方やデージー図書、電子図書館の機能について写真等を使って紹介しました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
9/30	渋谷学習センター多目的ホール	バリアフリー映画会	『グーグーだって猫である』の上映。視覚や聴覚にハンディキャップがある方も一緒に楽しめる映画会。	中止

#### iv) 情報発信の充実

ホームページでは各種お知らせやイベント情報のほか、「こどものページ」にはおはなし会で読んだ本やおすすめ本を掲載しました。Facebook では写真を掲載してのイベント報告や、テーマに沿って本を紹介する投稿を定期的に行いました。また、FM やまとに担当者が出演してイベントの広報活動を行うなど、幅広い世代への情報発信を図りました。

#### b) 各種事業

##### i) 本のテーマ展示

毎月季節や企画に合わせたテーマで展示を行いました。7月・12月のティーンズ向け展示では、より読書への興味を持っていただけるように本の紹介POPを作成しました。また、渋谷小学校5年2組の総合的な学習の時間での取り組みとして、生徒が作成した『ジェンダー平等』についての絵本と図書館所蔵の関連資料を展示しました。

月	場所	展示テーマ
4月	一般	新人さんいらっしゃ〜い
	ティーンズ	本の書き出し
	児童	新しい出会いの季節 おともだちのおはなし
5月	一般	いつまでも、おしゃれ
	ティーンズ	部活体験
	児童	うんちのなぞ!
6月	一般	GOTO 神奈川〜地元を知ろう!〜
	ティーンズ	kawaii📖本集めました
	児童	雨の日を楽しもう
7月	一般	海、船、港
	ティーンズ	アニメ・ドラマ・映画を本で楽しもう!
	児童	乗り物いろいろ
	特別	課題図書
8月	一般	自然を感じる
	ティーンズ	平和について考える
	児童	夏休み!宿題応援コーナー
	特別	課題図書
9月	一般	知りたい!アルツハイマー
	ティーンズ	心を支える・癒す本
	児童	おじいちゃん・おばあちゃんを知ろう

	特別	ちいさなオレンジライトアップ
10月	一般	図書館レストラン
	ティーンズ	ファンタジー特集
	児童	なぞとき
11月	一般	人とのつながり
	ティーンズ	働くということ
	児童	おいしいものいっぱい
12月	一般	芥川賞・直木賞
	ティーンズ	冬休み、何を読む?
	児童	雪のおはなし
1月	一般	伝統芸能
	ティーンズ	未来のはなし
	児童	今年の主役!とらのおはなし
2月	一般	バリアフリー
	ティーンズ	輝く女性たち
	児童	ねこがいっぱい
	企画	図書館における読書バリアフリー
	特別	渋谷小学校5年2組「ジェンダー平等」についての手作り絵本
3月	一般	人生の格言
	ティーンズ	お悩み相談
	児童	しゃしんえほん
	特別	渋谷小学校5年2組「ジェンダー平等」についての手作り絵本

#### ii) 郷土写真の展示

郷土写真を地域資料コーナーに常設展示し、市南部地域の歴史を感じる場としました。

#### c) その他

##### i) なぞときイベントの実施

新型コロナウイルス感染防止対策でイベントの定員を減らしているため、より多くの子どもたちが楽しめるようになぞときイベント「ブッカー氏からの挑戦状」を実施しました。週末を中心に館内を回りながら謎解きをする姿が見られ、大変好評いただきました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
10/1 ~10/31	図書館内	なぞときイベント~ブッカー氏からの挑戦状~	館内にあるものや本を手がかりに謎解きをしながら、楽しんで図書館の使い方を知らせよう。	46人

## 2) 実施体制

計画の遂行にあたり、2期目のテーマのひとつである「(やまとみらいが運営する全施設)7館融合」を念頭に置き、各図書館・各部門が協力して業務を実施しました。また、感染対策や予防策実施にあたっては、運営会社のネットワークを活かし、密な情報共有により、円滑に運営を行うことができました。



#### ④ 利用規則

##### 1) 施設利用の公平性

「図書館法」、「大和市立図書館条例」、「大和市立図書館条例施行規則」等の法令・規則を遵守し、公平・公正な運営を行うことで、市民・利用者の知る権利や情報提供への貢献を果たしました。

##### 2) 利用規則

つきみ野図書室は、大規模改修工事に伴い、令和3年12月29日(水)から令和5年1月31日(火)まで休館となります。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための図書館利用制限を以下の通り実施しました。

- ・大和市立図書館:まん延防止等重点措置区域適用、緊急事態宣言発令時(1月~3月を除く)は20時閉館。滞在時間および閲覧席数の制限を適宜実施しました。
- ・中央林間図書館:施設の営業時間臨時変更に伴い、通年20時閉館となりました。滞在時間および閲覧席数の制限を適宜実施しました。
- ・渋谷図書館:4・6・7・10月は県要請により21時閉館、まん延防止等重点措置区域適用、緊急事態宣言発令時は20時閉館(1月~3月を除く)。滞在時間および閲覧席数の制限を適宜実施しました。10/26から通常通り21時30分閉館。

#### ⑤ 人員体制

事業計画に則り行いました。

### (3) 学習センター関連サービス

(対象施設:大和市生涯学習センター、大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター  
各地区学習センター)

#### ① 基本方針

令和元年度から始まった、健康都市やまとMANABI計画(大和市生涯学習推進計画)に則り、市民一人ひとりにとって居心地のよい居場所の提供と様々な事業を通して学びや交流、育ちのサポートに努めました。施設の運営にあたっては、感染症対策や定期的な巡回、声かけを通して安全・安心に利用できる環境を整えました。

#### ② サービス提供に関する取り組み

公平・公正なサービスはもちろんのこと、以下の考えに則り、すべての利用者に学びの楽しさを提供できる施設を目指しました。

- 1)すべての人に「分かりやすい」施設を目指します。
- 2)すべての人に「利用しやすい」施設づくりを目指します。
- 3)すべての人に「やさしい」ホスピタリティあふれる施設を目指します。

学習センターを利用する人々が、必要とする情報を手にすることができるように、分かりやすい掲示に努めました。また、様々な世代の方へ情報を発信する手段として、今年度から学習センター5館合同でInstagramによる情報の配信も行いました。

講座については、引き続きオンライン講座に取り組みました。また、指定事業とは別に、市民が文化に触れ、学ぶきっかけとなる講座を新たに実施し、学びの循環に力を入れました。

ご意見箱でいただいたご意見の中で、改善ができるものについては積極的に取り組み、利用しやすい施設運営に取り組みました。生涯学習センターでは、ぶらっと大和だけでなく、市民交流ラウ

ンジの混雑状況の配信も開始し、利用者目線にたった施設運営を心がけました。

### ③ 事業報告

#### 1) 事業方針及び事業内容

##### ア) 貸館事業

大和市が管理する学習施設予約システムを活用し、利用条件・利用方法・支払方法に関しては、現状の大和市生涯学習センター条例及び施行規則に則り運営しました。

新型コロナウイルスの感染状況に応じ、県や市からの要請に応じて閉館時間の変更や感染対策として、引き続きガイドラインの遵守、チェックリストの提出などに協力いただきました。

また、北部文化・スポーツ・子育てセンター、渋谷学習センターはワクチン接種会場として大和市からの指示に従い会場の提供をしました。利用ができなくなった利用者へは丁寧な対応を心掛けました。

(新型コロナウイルス対応経緯)

3月22日～4月27日 県からの要請 21時閉館 貸館 19時30分まで

4月28日～6月20日 まん延防止等重点措置 20時閉館 貸館 19時30分まで

6月21日～7月21日 県からの要請 21時閉館 貸館 19時30分まで

7月22日～10月3日 神奈川県版緊急事態宣言、緊急事態宣言  
20時閉館 貸館 19時30分まで

10月4日～10月24日 県からの要請 21時閉館 貸館 21時まで

10月25日～ 通常開館(閉館時間、貸館利用時間、会議室定員)

(感染対策)

- ・ガイドラインの遵守
- ・チェックリストの提出
- ・会議室の定員削減(10月24日まで)
- ・ぷらっと大和、市民交流ラウンジの座席制限(生涯学習センター)
- ・市民交流スペース、学習室の座席制限、プレイルーム人数制限・受付制へ変更  
(北部文化・スポーツ・子育てセンター)
- ・食事の禁止
- ・手指消毒用アルコール設置
- ・会議室利用時の消毒セット貸出
- ・アクリルパーテーションの貸出
- ・希望者への二酸化炭素濃度計の貸出
- ・窓口人数制限と臨時窓口の設置

(ワクチン接種会場に関わる経緯)

6月18日～9月30日 渋谷学習センター 多目的ホール利用停止

6月18日～10月31日 ポラリス プレイルーム・窓口を除き利用停止

2月7日～3月31日 ポラリス アリーナ利用停止

##### a) 各学習センター共通

##### i) 施設の貸出手続業務

事業計画に則り行いました。

ii) 貸出手続きの流れ

事業計画に則り行いました。

iii) 経理業務と金銭管理

事業計画に則り行いました。

iv) 印刷室の運営業務

事業計画に則り行いました。

v) 職場体験等の対応業務

コロナ下のため職場体験の依頼はありませんでした。

b) 生涯学習センター

i) 市民交流ラウンジの運営業務

- ・自動入退室システムは設置後 5 年が経過することから機器の大規模メンテナンスを行い、感知部の交換などを行いました。
- ・コロナ下での使い方として、マスクの着用や食事の禁止など、利用方法の徹底を行いました。
- ・利用者から「来館しても混雑していて券を購入できなかった」というご意見をいただいたことから、市民交流ラウンジの混雑状況の配信をHP上で行いました。

ii) 市民交流スペース(ぶらっと大和)の運営業務

- ・新型コロナウイルスの感染状況に合わせて、大和市と相談しながら、座席制限やアクリルパーテーションの設置を行いました。
- ・定期的な巡回を行い、コロナ下の使い方として、マスクの着用、食事の禁止、座席の移動禁止の周知徹底を行いました。利用方法を間違えて使っている方には、職員が丁寧に説明し、理解を求めました。
- ・混雑による密集状態を避けるため、HP上で混雑状況の配信を行いました

c) 北部文化・スポーツ・子育てセンター

i) 市民交流スペースの運営業務

- ・新型コロナウイルスの感染状況に合わせて、大和市と相談しながら、座席制限やアクリルパーテーションの設置を行いました。
- ・定期的な巡回を行い、コロナ下の使い方として、マスクの着用、食事の禁止、座席の移動禁止の周知徹底を行いました。利用方法を間違えて使っている方には、職員が丁寧に説明し、理解を求めました。

ii) アリーナの運営業務

- ・ワクチン接種会場として、6月18日～10月31日、2月7日～3月31日の間、アリーナの利用が中止となりました。
- ・団体利用、個人利用共に、利用を予定していたにも関わらず利用ができなくなってしまったサークル・団体には、事情を丁寧に説明しワクチン接種に対するご理解をいただき、多くの団体が快くキャンセルに応じてくれました。
- ・5月1日より個人利用用の券売機を導入し、スムーズな会計・受付が行えるようにしました。

iii) プレイルームおよび親子交流サロンの運営業務

- ・プレイルームでは、不特定多数の未就学児、親子が利用するため、遊具、絵本等のアルコール消毒を徹底すると共に、定員を設けて、利用者に健康チェックを含む受付票の提出をお願い

いしました。

d) 渋谷学習センター

i) ホールの運営業務

・ワクチン接種会場として、6月18日～9月30日の間、ホールの利用が中止となりました。  
 ・音楽等の文化・芸術にふれる講座を開催しました。また実行委員会形式による市民と共に創るコンサートや、大和市と連携した地域防災を啓蒙する場など、地域と一体となって、身近なテーマで気軽に参加できる事業を実施しました。

e) 各地区学習センター

i) ギャラリーの運営業務

事業計画に則り実施しました。

ギャラリー展示をきっかけにサークルへ入会される方もおり、学びの循環につながるようサポートしました。

また、渋谷学習センターではギャラリーの位置が館外を通行している方からも見えることを生かし、「秋の作品展」では館の外からも作品を観ることができるようなレイアウトを工夫して実施しました。

【つきみ野学習センター】

実施月	日数	団体名	展示内容	来館数
5月	7日	個人	切り絵	22人
11月	6日	つきみ野水彩画「四季」	水彩画	558人
11、12月	7日	ポルトガル刺繍	刺繍	297人
12月	4日	個人	絵画	125人
12月	4日	ヤマト・クロッキーの会	クロッキー絵画	33人
合計	28日	1,035人		

【桜丘学習センター】

実施月	日数	団体名	展示内容	来館数
4月	7日	裂画の会	裂画	204人
4月	7日	マチエール	写真	169人
5月	7日	写団さくら会	写真	251人
7月	7日	蕾の会	絵画	154人
10月	6日	きりえサークル	絵画(切り絵)	229人
11月	7日	写団さくら会	写真	258人
11月	3日	桜丘学習センターまつり	その他	1,346人
12月	8日	サポートハウスワンピース	その他	559人
合計	52日	3,170人		

【渋谷学習センター】

実施月	日数	団体名	展示内容	来館数
-----	----	-----	------	-----

4月	5日	切り絵サークル	切り絵作品展	471人
5月	1日	保険給食課	検診	44人
6月	2日	楽しい絵本づくりの会	創作絵本	15人
7月	7日	高座渋谷手作り甲冑隊	創作品	107人
8月	5日	絵画教室つのもり	絵画・造形	214人
9月	6日	大和市シニアクラブ連合会	絵画・書道・手芸	371人
10月	5日	絵画クラブ画夢人	絵画	368人
11月	2日	絵画クラブ画夢人 やまとみらい	絵画 絵画・写真・リース	53人
12月	12日	・Y・P・A ひまわり ・個人利用	絵画 写真	403人
2月	3日	若葉の会	書道作品	108人
3月	16日	・小さな旅のスケッチクラブ ・Bの会 ・文化振興課 ・やまと生涯学習ねっとわあく ボランティア講師の会	水彩画 水彩画 短歌・俳句・川柳 バッチワーク	549人
合計	64日			2,703人

ii) 保育室の運営業務

事業計画書に則り実行しました。

【つきみ野学習センター】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	30	31	29	31	31	30	31	30	27	0	0	0	270
人数	140	157	184	199	218	201	154	171	205	0	0	0	1,629

【桜丘学習センター】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	31	30	31	31	30	30	28	28	28	28	31	355
人数	26	50	49	35	73	97	49	83	35	49	87	47	680

【渋谷学習センター】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	30	29	30	30	29	29	29	27	27	27	30	346
人数	2	3	20	43	26	22	30	27	42	55	49	46	365

イ) 生涯学習事業

大和市が推進する「健康都市やまとMANABI計画」に則り、生涯各期他、各種事業を実施しました。目まぐるしく変化する社会に合わせて、オンライン講座の実施や、生涯学習事業として、これまでとは違った多種多様な事業を展開しました。

また、個人学習の場として、会議室を活用した学習室開放事業を引き続き行いました。

「学び」を通して市民や地域のつながりを意識し、コミュニティ、文化の発展を意識しました。

a) 会議室開放事業

i) 生涯学習センター

・土日や祝日を中心に、個人学習のために会議室を学習室として無料で開放しました。

周辺の中学校や高等学校が定期テストや入試の時期には平日の午後も、積極的に開放し

ました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	7	25	16	22	25	11	10	11	9	7	14	9	166
人数	21	752	501	598	500	371	266	357	280	81	431	262	4,420

ii) 北部文化・スポーツ・子育てセンター

- ・Room6,Room7は個人学習の場として、終日開放をしました。
- ・Room2 は土日祝祭日を中心に、グループでの活動や個人学習など市民による多彩な活動のために、気軽に集え、交流できる場所として、市民開放をおこないました。また団体利用ない平日においても適時開放しました。
- ・6月18日～10月31日は、ワクチン接種会場として休館となったため、学習室開放も中止しました。

Room2

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	28	27	14	—	—	—	—	27	24	18	23	23	184
人数	67	264	137	—	—	—	—	67	95	70	236	144	1,080

Room6,7

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	30	31	17	—	—	—	—	30	28	28	28	31	223
人数	1,010	1,078	468	—	—	—	—	1,010	1,130	1,162	1,325	827	8,010

iii) つきみ野学習センター

- ・ギャラリーの利用予定がない日は、学習室として無料で開放しました。利用者多数で定員に達した際には、他の空き会議室も開放しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	30	31	29	31	31	30	31	30	26	0	0	0	269
人数	151	213	251	348	424	397	423	269	183	0	0	0	2,659

iv) 桜丘学習センター

- ・空き会議室を利用した学習室開放事業を行いました。個人学習のために学習室を積極的に開放し、誰もが気軽に利用できる学習の場を提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	31	30	31	31	30	30	30	28	28	28	31	357
人数	26	50	49	35	73	97	49	83	35	49	87	47	680

v) 渋谷学習センター

- ・ユースコーナーA・Bを個人学習のため、C・Dをグループ学習のために無料で開放し、大人の方には各コーナー3席確保しました。

## 学習室開放

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	30	29	30	30	29	29	29	27	27	27	30	346
人数	113	205	332	125	115	287	148	391	202	199	336	167	2,620

## 大人読書開放

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	30	29	30	30	29	29	29	27	27	27	30	346
人数	15	30	22	69	26	31	20	38	6	19	20	11	307

### b) 生涯各期に合わせた講座、現代的課題に関する講座の開催

仕様書に則り事業を展開しました。講座を通して市民による学びの循環を促すことを目的に、受講生によるサークル化の推進にも力を入れました。各館で複数のサークルが立ち上がりました。昨年度、生涯学習センターでサークル化した絵手紙サークルは、生涯学習センターまつりへの参加や大和市主催の月イチ学園祭への協力（令和 4 年度）など積極的に市民発信に力を入れています。

生涯学習センターで 2 月～3 月にかけて行った「児童家庭教育学級ことばのチカラを上げる親トレ」では、講座終了後に令和 4 年度の家庭教育学級の開催に向け、学習センターと市民との協働を目的に実行委員を募りました。6 名の方に関心を示していただき、令和 4 年 4 月に 1 回目の実行委員会を開催することができました。令和 4 年度は市民の意見を取り入れた講座を開催予定です。

コロナ下での講座の在り方として、オンライン講座の実施にも力を入れました。生涯学習センター、つきみ野学習センターでは定期的に子育てオンライン講座を実施し、学習センターに来ることが難しい方、不安な方にも参加していただくことができました。回を重ねる中で参加者同士の交流も増えました。参加者の中で、オンラインツールの使用に不安を抱える方には、参加前にレクチャーを行いました。また、オンラインツールの使い方についての講座も行い、コロナ下で学ぶ機会が損なわれないように心がけました。

## 《実施報告》

### 生涯学習センター

区分	令和 3 年度 実施事業数／実施回数
乳幼児期	2 事業／14 回
青少年期	6 事業／13 回
成人期	4 事業／14 回
高齢期	3 事業／7 回
現代的課題	6 事業／177 回

### 【乳幼児期】

事業名	回数	参加者数
幼児ごはんコロナ禍で考える家食のヒント	2 回	21 人

### 子育て応援オンライン講座

月	内容	参加者数
4月	親子で楽しむこどもの読書週間	9組
5月	こんな時どう声をかけたらいい？ ～ひとことで大違いを体験談から	6組
6月	親子で楽しく♪リズム体操	9人
7月	ママがラクになる子育てのヒント “ほどよい子育て	5人
8月	絵本を歌って遊ぼう	8人
9月	育児疲れ解消ストレッチ	7人
10月	カラダにやさしいおやつ作りと食のお悩み相談会	3人
11月	親子のふれあいハンドマッサージ	6組
12月	絵本でぷぷぷっと微笑むクリスマス	6組
1月	テレビ・スマホと上手に付き合うヒント	10人
2月	親子スキンシップとぐっすりまんまる抱っこ	3組
3月	子どもの前髪カット 子どもとママの簡単ヘアアレンジ	6人

#### 【青少年期】

事業名	回数	参加者数
小学生なつやすみ体験講座 ①お花をかざろう ②ペタンク・ポッチャを体験 ③籐であむ小物入れ	3回	50人
おしえて入浴剤博士!お風呂のひみつ	2回	30人
これからの男の子たちへ ～「男らしさ」にとらわれず生きていくために～	2回	38人
横浜F・マリノス講習会 子育てに役立つ「食」の話	1回	16人
児童家庭教育学級 ことばの子カラを上げる親トレ	3回	39人
畳縁クラフト「ペンケース」「ミニバッグ」	2回	31人

#### 【成人期】

事業名	回数	参加者数
オンライン会議ツールを使いこなそう!	3回	46人
食の手仕事 秋冬編	2回	44人
リラックスアロマヨガ	6回	104人
健康講座 ウェルエイジング 年齢との上手なつきあいかた	3回	52人
伝わる写真の撮り方～思い出を宝箱に～		中止

#### 【高齢期】

事業名	回数	参加者数
送ってあげたい、親ごはん～遠距離での支援・介護を考える～	2回	24人
篆刻体験講座	2回	39人
健康講座 頭も身体も弱らせない!『今だからこそ』のフレイル予防	3回	50人

#### 【現代的課題】

事業名	回数	参加者数
雑草と虫と楽しむ庭からのヒント	3回	51人



繊細過ぎて傷付きやすいひと(HSP)の気持ちと心のケア	2回	57人
世界とつながろう ～いろいろな外国語を紹介します～	1回	20人
親子防災サバイバル入門	1回	21人
3Dプリンター開放事業	4回	13人
学習室開放事業	166回	4,420人

北部文化・スポーツ・子育てセンター

区分	令和3年度 実施事業数／実施回数
乳幼児期	3事業／12回
青少年期	2事業／5回
成人期	0事業／0回
高齢期	2事業／10回
現代的課題	4事業／231回

【乳幼児期】

事業名	回数	参加者数
おはなしひろば「ポプラのわくわくおはなし会」	4回	63人
おはなしひろば「中央林間図書館」	7回 中止5回	139人
子どもと言葉 心を育む言葉・生きる力と喜び	1回	11人

【青少年期】

事業名	回数	参加者数
あそび塾Ⅱ	4回 (中止2回)	69人
親子で学ぶお箸のこと	1回	9人
子どもの成長期における足の発達や靴選び	中止	

【成人期】

事業名	回数	参加者数
お口の健口体操の輪「口は命と笑顔の元」	中止	
大和シルフィードが教える「スポーツ上達に役立つ体幹トレーニング」	中止	

【高齢期】

事業名	回数	参加者数
たのしく続けよう!ポラリス健康体操	8回 (中止10回)	81人
シニアセミナー ポラリス清話 大和の歴史を学ぶ	2回	45人

【現代的課題】

事業名	回数	参加者数
青少年育成; 放課後ルーム	2回	26人
防災・環境; 暮らしと防災	1回	11人
(やまとみらいまつり) ぬり絵でガッチャン!オリジナル缶バッジ	5日	54人

学習室開放事業	223 回	9,090 人
---------	-------	---------

つきみ野学習センター

区分	令和3年度 実施事業数／実施回数
乳幼児期	6 事業/298 回
青少年期	2 事業/9 回
成人期	1 事業/2 回
高齢期	1 事業/9 回
現代的課題	6 事業/285 回

【乳幼児期】

事業名	回数	参加者数
子育てサポートネット であいのへや(保育室開放)	270 回	1,629 人
子ども読書の日イベント	1 回	18 人
ママと遊ぼうリズム体操～ねんね・ハイハイ組	4 回	78 人
おいでおいで♪～たち組	4 回	127 人
親子 DE オンライン講座	3 回	8 人
オンライン保育室ほっと☆のびのび	16 回	118 人
お母さんのためのオンライン講座	中止	

【青少年期】

事業名	回数	参加者数
冬休み子ども科学教室 転がれ、進め、ジェットコースター	1 回	25 人
つきみ野こどもボードゲームクラブ	8 回	28 人

【成人期】

事業名	回数	参加者数
健康講座 コロナに打ち勝つ!温泉で健康維持	2 回	28 人

【高齢期】

事業名	回数	参加者数
健康講座 ゆるやかヨガのひとつき	9 回	86 人

【現代的課題】

事業名	回数	参加者数
本のお楽しみ袋	2 回	37 人
地元探究～月見野遺跡を知る	2 回	43 人
世界遺産 その価値と魅力	5 回	137 人
学習室開放事業	269 回	2,659 人
(やまとみらいまつり) ぬり絵でガッチャン!オリジナル缶バッチ	5 日	45 人
中国茶紀行	2 回	23 人

桜丘学習センター

区分	令和3年度 実施事業数／実施回数
----	---------------------

乳幼児期	2事業/363回
青少年期	2事業/5回
成人期	1事業/2回
高齢期	1事業/1回
現代的課題	6事業/415回

【乳幼児期】

事業名	回数	参加者数
すくすく広場(保育室開放)	357回	664人
ゆめごん(ちえりるん)のへや	6回	64人

【青少年期】

事業名	回数	参加者数
わたしの☆ぼくの宝物～つくって楽しむ紙芝居～	3回	23人
夏休みものづくり教室	2回	21人

【成人期】

事業名	回数	参加者数
これで安心!老後のお金と住まいかた	2回	37人

【高齢期】

事業名	回数	参加者数
シニアセミナー「楽しい脳トレ」	1回	24人

【現代的課題】

事業名	回数	参加者数
桜丘親子のおはなし会	12回	85人
乳幼児家庭教育学級 子どもと自然	中止	中止
おもちゃ病院	11回	126人
気象予報士に学ぶ防災気象講座	1回	22人
新キャラクターお披露目会	31回	44人
(やまとみらいまつり) ぬり絵でガッチャン!オリジナル缶バッジ	5回	10人
学習室開放	355回	680人

渋谷学習センター

区分	令和3年度 実施事業数/実施回数
乳幼児期	4事業/366回
青少年期	1事業/2回
成人期	1事業/1回
高齢期	1事業/1回
現代的課題	6事業/701回

【乳幼児期】

事業名	回数	参加者数
あゆびす～AYUBIS～(保育室開放)	346回	365人
英語で遊ぼう! Story Time(ストーリー・タイム) Let'senjoy summer!	1回	16人
英語で遊ぼう! Story Time(ストーリー・タイム) Enjoy winter & Christmas season!	1回	18人
親子でおはなし会	18回	188人

【青少年期】

事業名	回数	参加者数
子ども科学講座 ～出てこい未来のエジソン!～	2回	36人

【成人期】

事業名	回数	参加者数
【健康講座】かんたん!自宅で始める筋力トレーニング	1回	14人

【高齢期】

事業名	回数	参加者数
笑って学べる終活落語 ～成年後見制度と笑ディングノート～	1回	22人

【現代的課題】

事業名	回数	参加者数
読書推進学習交流「大人読書開放」	346回	307人
学習室開放事業	346回	2,620人
リアル避難場所体験 水害編《学習コース》	1回	12人
リアル避難場所体験 水害編《いってみようコース》	1回	13人
演劇ワークショップ だれでも小さなパフォーマーⅡ	2回	6人
(やまとみらいまつり) ぬり絵でガッチャン!オリジナル缶バッジ	5日	97人

c) 地域や利用者と密接に連携した講座の開催

地域への社会教育活動を行っている団体と協力して事業を行いました

区分	令和3年度 実施事業数/実施回数
北部文化・スポーツ・子育てセンター	4事業/12回
つきみ野学習センター	6事業/36回
桜丘学習センター	1事業/298回
渋谷学習センター	0事業/0回

※渋谷学習センターでは地域の催しと協力した事業を計画していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、催しが中止となったため、事業も中止となりました。令和4年度も引き続き計画をしています。

【北部文化・スポーツ・子育てセンター】

放課後ルームは今年度から地域のNPOと協力して実施しました。

事業名	回数	参加者数
-----	----	------

・おはなしひろば「ポプラのわくわくおはなし会」	4回	63人
・放課後ルーム	2回	26人
・あそび塾Ⅱ	4回	69人
・大和歴史講座	2回	45人

【つきみ野学習センター】

子育てサポートネットは、地域のボランティアの方に協力いただき実施しました。地域の子育て中の親子の情報交換・交流の場となると同時に、サークル結成や乳幼児家庭教育学級に参加するきっかけになりました。

事業名	回数	参加者数
子育てサポートネット ほっと☆のびのび	3回	77人
子育てサポートネット Nursery Rhymes & Mother Goose	1回	14人
子育てサポートネット おはなしぼっこ	1回	25人
子育てサポートネット 絵本で♡はぴねす	1回	25人
朗読の会	2回	102人
季節のイベント(クリスマス・絵馬)	28日	265人

【桜丘学習センター】

当館登録団体の双和会にて「手話講座」を毎年実施していますが、今年度は講師を務める団体会員との協議の結果、新型コロナウイルスへの感染を懸念し、中止としました。

また、地域の方々とのコミュニケーションの場と機会作りを意図して、受付窓口前ロビーにて季節ごとに掲示板展示イベントを開催しました。季節の催しなどをテーマとして取り上げ、利用者と当館スタッフ及び市民の皆さまの交流の場となりました。

テーマ	日数	参加者数
桜丘学習センターの新キャラクター名前募集	30日	83人
七夕飾り	21日	78人
桜丘学習センターの新キャラクター“ちえりるん”お披露目	92日	44組
あなたにとっての秋の味覚	51日	257人
ハロウィン	31日	32組
クリスマス	18日	58人
新年の書初め“今年の抱負”	27日	71人
節分飾り(当館スタッフ手作り作品の展示)	28日	掲示のみ

d) 専門性のある講座の開催

学識経験者や有識者、専門家など優れた知見を有する方々を講師に向かえ、市民の皆様がより専門的な知識を学ぶことができる場を「やまとみらいカレッジ」として開催しました。

《実施報告》

生涯学習センター

区分	令和3年度 実施事業数／実施日数
専門性のある講座 (やまとみらいカレッジ)	3事業／15日

事業名	回数	参加者数
向田邦子 没後40年 -日常を見つめるまなざし-	5回	229人

バーチャル・リアリティが未来を切り開く!!!	5回	114人
知られざる大和市文化財 -その美と鑑賞法を学ぶ-	5回	196人

各地区学習センター

区分	令和3年度 実施事業数/実施日数
専門性のある講座 (やまとみらいカレッジ)	3事業/15日

【つきみ野学習センター】

学習センター	事業名	回数	参加者数
つきみ野学習センター	エネルギーの現在・そして未来	5回	65人
桜丘学習センター	歴史的視点から見る英語 ～英語はこれからも世界の共通語で 有り続けるのか～	5回	53人
渋谷学習センター	【音楽講座】時代別クラシックのたのしみ	5回	92人

e) やまとこども市民大学の開催

子どもが自らの将来や職業選択への興味・関心をかきたてる事業として、子どもたちにも人気のカプセルトイの企画立案、商品化について学びました。

《実施報告》

生涯学習センター

区分	令和3年度 実施事業数/実施日数
やまとこども市民大学	1事業/1日

事業名	回数	参加者数
カプセルトイの企画・デザインをやってみよう!	1回	22人

f) 生涯学習関連事業の開催

生涯各期や現代的課題など市の指定事業では実施ができない、市民の関心が高い講座を数多く実施し、市民の学びのきっかけを作ることに力を入れました。

《実施報告》

生涯学習センター

区分	令和3年度 実施事業数/実施日数
生涯学習関連事業	10事業/33回

事業名	回数	参加者数
世にも奇妙な食虫ハンター!～食虫植物の世界を知る～	2回	63人
紅染めに挑戦～日本古来の染料「紅」の不思議～	2回	30人
天井プラネタリウムで星空観察	1回	37人
心を癒すミニ枯山水づくり	1回	15人
水墨画への誘い	7回	88人
(やまとみらいまつり)ぬり絵でガッチャン!缶バッジ	5回	275人

(やまとみらいまつり) スマホで楽しむスタンプラリー ※5館連携事業として実施	5回	209人
名演で味わうクラシック音楽史 ピュアオーディオで堪能するクラシック	4回	176人
今読むべき世界の名著①『史記』高祖本紀を読む～もう一人の英雄、劉邦～	5回	125人
今読むべき世界の名著①『夜と霧』	1回	38人

g) 生涯学習情報等の提供

事業計画に則り行いました。

h) やまと生涯学習ねとわあく制度の運用

事業計画に則り行いました。以下の講座では、登録講師の活用も行き、地元の人材活用と制度の活性化に取り組みました。

講座名	実施日	講師名
小学生夏休み体験講座 ①お花をかざろう ②ペタンク・ポッチャを体験 ③籐であむ小物入れ	7/30 8/5 8/6	小山阿希代氏 遠藤恵美氏 溝口孝子氏
オンライン会議ツールを使いこなそう!	9/19,9/26,10/3,10/10	山崎文明氏

【つきみ野学習センター】

講座名	実施日	講師名
ママと遊ぼうリズム体操 ～ねんね・ハイハイ組	4/15,6/17,8/19,12/16	工藤奈保美氏
世界遺産 その価値と魅力	10/25,11/1,8,22,29	宮川明美氏

i) どこでも講座の調整業務

事業計画に則り行いました。

j) 生涯学習情報誌の発行業務

事業計画に則り行いました。

k) 団体サークル化

講座の受講を通じて同じ趣味や関心を持つ人々をつなげ、主体的に学習が続き、あらたな地域とのつながりをつくるために、サークル化をサポートし市民の継続的な学習を支援しました。

【生涯学習センター】

講座実施月	講座名	新規サークル名
10～3月	リラククスアロマヨガ	アロマヨガ ※令和4年4月に立ち上げ

【つきみ野学習センター】

講座実施月	講座名	新規サークル名
5/7,21	中国茶紀行	茶茶紀行の会

※12月に行った、健康講座「ゆるやかヨガのひととき」参加者でサークル化の話合い中。(活動場所の検討中)

【渋谷学習センター】

講座実施月	講座名	新規サークル名
10月	スタジオで演奏しませんか	Hachi オン会

※10月に行ったスタジオの開放事業「スタジオで演奏しませんか」でスタジオを利用した方が、友人とサークルを立ち上げ、登録

ウ) 地域活性化事業

市民が主体となって行う事業をサポートすることで、地域の文化を育む「学びの循環」に力を入れました。

a) 生涯学習センターまつりの開催

団体にとってこれまでの学習成果を発表する場である「学習センターまつり」は、新型コロナウイルスの影響により中止とした学習センターもありましたが、感染状況を見ながらそれぞれ開催の可否を判断しました。

i) 生涯学習センター

31 団体で実行委員会を進めていましたが、感染拡大の影響を受け 13 団体が参加を見合わせました。当日は感染症対策を十分に行い、発表 6 団体、展示 12 団体が参加しました。

・開催日：令和4年 2 月 19 日(土)、20 日(日)

・ところ：シリウス 1F サブホール、ギャラリー、6F 会議室等

・参加団体 18 団体

・参加者数 934 人

ii) 北部文化・スポーツ・子育てセンター

6月18日～10月31日までワクチン接種会場となり、施設の利用が制限されていたため、団体の活動及び発表の場を確保できず中止となりました。

代替事業として冊子「紙上ポラリスまつり」を作成しました。まつりに参加を希望していた団体の紹介や、出展を予定していた作品等の写真を掲載した冊子をつくり、参加団体への配布や館内での配架をおこないました。

・掲載参加団体：16 団体

・発行冊数：200 部

iii) つきみ野学習センター

つきみ野学習センターまつり第 1 回実行委員会にて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止を決定しました。

代替事業として「第 2 回つきみ野博覧会」を開催しました。

・開催日：令和 3 年 11 月 13 日(土)～14 日(日)

・ところ：つきみ野学習センター ギャラリー、201・202 会議室

・参加団体：展示の部 4 団体、動画の部 6 団体、協力団体 3 団体

・来場者数：427 名

iv) 桜丘学習センター

新型コロナウイルス感染症拡大への懸念から通常の 1/3 程度の参加団体となりました。十分な感染症対策を実施し、発表 10 団体、展示 4 団体、その他協力 12 団体にて開催しました。

・開催日：令和 3 年 11 月 20 日(土)、21 日(日)

・ところ：桜丘学習センター全館

・参加団体：26 団体



・参加者数：1,346 人

v) 渋谷学習センター

展示・イベント部門については、当初 29 団体で実行委員会を進めていましたが、ホールがワクチン接種会場となったため開催日延期を計画しておりました。しかし、感染拡大を受け中止を決定しました。

発表部門については、希望する 8 団体による無観客での発表を行いました。

・開催日：(発表) 令和4年 2 月 26 日(土)

・ところ：渋谷学習センター全館

b) 地域文化振興事業の開催

i) やまと芝居小屋

北部文化・スポーツ・子育てセンターにて実施予定でしたが、アリーナにおけるワクチン接種会場の利用、Room7の学習室化に伴い、練習場所、本番会場の確保が困難になったことから、渋谷学習センター多目的ホールでの開催となりました。

・開催日：令和4年3月 13 日(日)

・ところ：渋谷学習センター多目的ホール

・参加団体：5 団体

・観覧者数：64 人

ii) あわてんぼうのクリスマス会

10 月 31 日までワクチン接種会場として貸室の利用ができなかったため、準備が間に合わず中止としました。ただし、発表が可能な2団体に協力していただき「たのしい人形劇」を開催しました。

・開催日：令和4年 3 月 30 日(水)

・参加団体：2団体

・参加者数：21 人

・ところ：北部文化・スポーツ・子育てセンター

iii) アマチュア・クラシックコンサート

つきみ野学習センターにおけるコンサートは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。1 月は感染状況が落ち着いていたため、渋谷学習センターのコンサートは実施ができました。小学生から 90 歳までの総勢 35 名の演奏家により開催しました。

・ところ：渋谷学習センター(1 回)

・開催日：令和4年 1 月 9 日(日) 13:30~17:30

・参加者：85 名

iv) さくらの音楽会

出演者と相談をしながら、飛沫防止用のビニールシートの設置など感染症対策を十分にとり、実施しました。

・開催日：令和3年 10 月 16 日(月)

・ところ：桜丘学習センター

・出演者：宮原未羽氏、木村麻衣氏、櫛田友子氏、菅野百合子氏、永綱拓人氏、  
千葉竜太氏(計 6 名)

・参加者数:54人

v) 渋谷素人演芸大会

ホールのワクチン接種会場利用に伴い、他事業との調整の結果中止としました。

vi) 湘南軽音楽フェスタ

多目的ホールワクチン接種会場設置に伴い、中止としました。

vii) スタジオで演奏しませんか

登録団体以外の方にも、渋谷学習センターのスタジオを知ってもらおうと同時に、サークル化を促し、利用促進を目指しました。

・開催日:令和3年10月10日(日)9:30~18:00 各1時間/7枠

・ところ:渋谷学習センター

・参加者:4組8人

c) 利用者懇談会等の開催

事業計画に則り行いました。

施設名	日付	参加者数	内容
生涯学習センター	6月19日	11団体 14人	利用者懇談会 生涯学習推進説明会 ※貸出倉庫調整会は調整不要となったため中止
北部文化・スポーツ・子育てセンター	3月20日	7団体 8人	利用者懇談会 生涯学習推進説明会 ※貸出ロッカー、倉庫調整会は調整不要となったため中止
つきみ野学習センター	4月17日	37団体 45人	利用者懇談会 生涯学習推進説明会 団体サークル倉庫会議
桜丘学習センター	3月20日	21団体 21人	利用者懇談会、生涯学習支援制度説明会、貸出倉庫利用者調整会
渋谷学習センター	4月25日	13団体 13人 延べ26人	利用者懇談会 生涯学習推進説明会

d) 生涯学習の推進に寄与する団体支援業務

学習センターの利用団体が、学習成果の市民への還元を目的に事業を行うことを支援する「まなびの輪支援事業」を積極的に行い、「学びの循環」を推進しました。

【生涯学習センター】

事業名	団体名	回数	参加者数
詩吟一日体験講座	大和市詩吟連盟	1回	中止
ひょうたんランプの制作体験会	切り絵工房「やまと」	5回	45人
道教・儒教・仏教	生涯教育研究会 LIE	6回	119人
太極拳体験会	楊名時太極拳大和教室	1回	5人
音楽文化講座	やまと国際オペラ協会	3回	121人
複音ハーモニカへのお誘い	大和ハーモニカ愛好会	1回	45人
にほんごで話そう! 日本語スピーチ大会	大和市国際化協会	1回	52人
大和地区日中友好協会設立 30周年記念式典	大和地区日中友好協会	1回	78人

【北部文化・スポーツ・子育てセンター】

事業名	団体名	回数	参加者数
ミュージカル体験ワークショップ	やまと子どもミュージカル	1回	41人
詩吟の体験練習発表会	紫岳会大和	2回	中止
ヤマトタケルと厩戸皇子 ～王になれなかった皇子たち～	生涯教育研究会 LIE	3回 中止3回	47人

【つきみ野学習センター】

事業名	団体名	回数	参加者数
レクダンス体験講習会	レクダンス「小道」	1回	3人
百人一首かるた入門講座	さがみ野かるた会	3回	中止
野鳥の木彫り体験教室	とりつくろう会	1回	2人
若葉の会健康づくり体操（無料体験）	若葉の会	1回	6人
健康体操無料体験会	さくら草	1回	3人
絵画展・体験コーナー	彩の会つきみ野	5回	中止
気功サークル無料体験講座	つきみ野気功サークル	1回	7人
社交ダンスグリーンサークル無料体験及びダンスパーティー	社交ダンスグリーンサークル	1回	中止

【桜丘学習センター】

事業名	団体名	回数	参加者数
桜ヶ丘落語演芸会	大和落語演芸倶楽部	1回	60人
第4回油絵体験会	薔の会	7回	154人
社交ダンス初心者講習会	大和ダンススポーツアマチュア選手会	4回	19人
句会体験会	大和市俳句協会	1回	0人
布でブックカバーを作ろう	ぬうぬうくらぶ	1回	3人
さわやか社交ダンス無料講習会	さわやかダンスクラブ	6回	6人

【渋谷学習センター】

事業名	団体名	回数	参加者数
みんなで歌おう忘年歌声まつり	音楽クラブ	1回	60人
おやこ★ニューイヤー★コンサート 最新和楽器「千尊鐘（せんぞんしょう）」～神秘の音色～	光中地区家庭・地域教育活性化会議	1回	20人
太極拳無料体験教室	渋谷太極拳クラブ	5回	13人
第8回 IKOZA 活動発表会	やまと生涯学習ねっとわあくボランティア講師の会	1回	50人

e) 周年事業

11月3日にシリウス5周年を迎えました。この日はやまとみらいまつりとして、生涯学習センターの他、市内学習センターも一緒にお祝いイベントを開催しました。学習センター5館では「ぬり絵でガッチャン!オリジナル缶バッチ」を行いました。またAR技術を用いた非接触スタンプラリーを開催し、シリウスだけでなく、市内の学習センター、図書館も協力しておまつりムードを盛り上げました。

北部文化・スポーツ・子育てセンターは、8月1日に周年事業を実施予定でしたが、ワクチン接種会場となったため中止となりました。

f) その他

i) 団体紹介事業(ショーケース、ポケットケース)

【つきみ野学習センター】

館内の3か所のショーケースに作品を展示していただきました。展示をきっかけに、団体への体験や入会希望に繋がりがり学びの循環になりました。

月	団体名	日数
4月	七宝焼きサークル	26日間
5月	ニイハオつきみ野	26日間
6月	翠書会	28日間
7月	とりつくろう会	29日間
8月・12月	やまと生涯学習ボランティアねっとわあくボランティア講師 亦部隆子氏	58日間
10月	木彫の会	29日間

## 2) 実施体制

事業計画に則り行いました。

## ④ 利用規則

### 1) 施設利用の公平性

学習センターが「公共の施設」であることを十分に理解し、施設の設置目的や業務仕様書、各種条例・施行規則に従い運営しました。

### 2) 利用規則

#### ア) 休館日

各館、12月29日～1月3日を休館日としました。

上記のほか、渋谷学習センターはIKOZAの休館日である毎月最終月曜日、全館休館日である10月24日を休館日としました。また、つきみ野学習センターは6月7日、12月6日、桜丘学習センターは4月26日、10月25日に施設点検日を設定し休館日としました。

年末年始をのぞく地区館の休館日は、職員の研修、避難訓練にあてました。

#### イ) 開館時間及び利用時間

##### α) 開館時間

3月22日～4月27日 9:00～21:00(県からの要請)

4月28日～6月20日 9:00～20:00(まん延防止等重点措置)

6月21日～7月21日 9:00～21:00(県からの要請)

7月22日～10月3日 9:00～20:00(神奈川県版緊急事態宣言、緊急事態宣言)

10月4日～10月24日 9:00～21:00(県からの要請)

10月25日～ 9:00～21:30 通常開館

##### β) 利用時間

事業計画に則り行いました。

##### ウ) 利用者登録等

事業計画に則り行いました。

### 3) 利用料金

事業計画に則り行いました。

#### ⑤ 人員体制

事業計画に則り行いました。

### (4) 屋内こども広場関連サービス

(対象施設:大和市屋内こども広場)

#### ① 基本方針

大和市屋内こども広場(以下、こども広場という)は、第二期大和市子ども・子育て支援事業計画「ハートプラン」の基本理念を促進するため、すべての子どもの健やかな成長を支えあうまち・やまと～地域と共に安心して子育て・親育ち～の実現を目指し運営にあたりました。

また、妊娠・出産、育児まで切れ目のない支援を行うことで、安心してこどもを産み育てることができる環境、及び地域や行政担当機関とも連携し皆様に見守られながら健やかに育つ環境づくりを目指し運営にあたりました。

#### ○希望する幼児期の教育・保育が受けられる体制づくり

こども広場の利用者が、文化芸術や生涯活動をする際に安心してこどもを預けられる施設を築きました。また、子育てに関する悩みやこどもの健康について気軽に相談できる体制作りを目標に掲げて運営にあたりました。

#### ○親育ち・地域の子育て力を育む基盤づくり

子育て世代の親とこどもが気軽に集える施設を築き、親子の交流や親同士・こども同士の交流を促進しました。また相談体制の充実や地域の子育て支援者の育成強化にも努めました。

#### ○安心して産み育てやすい環境づくり

妊娠、出産、乳幼児期、小学生のライフステージごとに切れ目ない支援を行い、子育てを楽しんで取り組めるようなイベントをさまざまな分野の専門講師を招いて開催しました。

#### ○こどもの生きる力をのばす環境づくり

親子が安心快適に過ごせるよう安全管理や衛生管理を徹底し、こども広場が日常のあそび場・子育ての場として継続的に利用してもらえる環境を整えました。また遊びやイベントを通してさまざまな体験をしてもらうことで、こどもの生きる力を育むサポート体制を構築しました。

#### ○さまざまな家庭の状況に応じた支援体制づくり

こどもへの対応と運営にあたっては、こどもの権利条約を尊重し、こどもの最善の利益を考えて行政機関と連携をとり相談支援を強化しました。また、多言語に対応できる翻訳機の導入によって、英語や中国語を母国語とする利用者とのコミュニケーションを円滑に図ることができ、外国人利用者に対する支援体制も強化することができました。

#### ② サービス提供に関する取り組み

受付業務・プレイリーダー・保育士各部門における連携を軸に、心に寄り添う子育て施設としてサービス強化に取り組みました。

##### 1) 利用者との日常のコミュニケーション

###### ア) 親しみやすい雰囲気

気軽に立ち寄れ、繰り返し利用してもらえる施設を目指し、スタッフ一人一人がホスピタリティ溢

れる親身な対応を行ったことで、誰からも親しみやすい施設を築きました。

イ) 小さなことでも積極的・具体的に褒める

こどもの行動をよく観察し褒める対象を見つけたら、積極的且つ具体的に褒めることを習慣づけました。褒めることで、こどもの笑顔や自己肯定感を引き出すきっかけを作ることができました。

ウ) 広場のコミュニケーションを活性化

こども広場での親子、こども同士、親同士の交流を促進するため、職員が積極的に声を掛け、一緒に活動できるあそびやイベントへの参加を促しました。

エ) 利用者への配慮

英語に対応した案内の作成や翻訳機の導入により、英語、ベトナム語、タガログ語を母国語とする利用者と円滑にコミュニケーションが図れ、外国人利用者に対してもスムーズにご案内することができました。

## 2) 利用者ニーズの把握及び実現策

ア) 利用者アンケートの実施

利用者の要望や意見等を的確に捉える手段として、イベント終了後にアンケート用紙を配布し情報収集に努めました。寄せられた情報はさまざまな角度から分析・検証し、利用者ニーズに応えられるよう魅力ある施設の構築に取り組みました。

## 3) 情報の発信

こども広場のサービス案内やイベント情報のほか、知育遊具の紹介や活動報告などこども広場がより身近な存在として、また安心・安全で居心地の良い施設としてご利用して頂けるよう魅力的な情報を発信し続けました。

ア) チラシの発行・配置

こども広場で開催されるイベント情報を掲載したチラシを毎月発行し、文化創造拠点内に掲示したほか、市役所や親子が集う市内の公共施設にも配架・掲示したことで、こども広場の誘致に取り組みました。

イ) イベントカレンダーの作成

月ごとにこども広場で開催されるイベント内容を分かりやすく一覧できるイベントカレンダーを作成し、シリウス内での掲示やホームページ等に掲載しました。

ウ) ホームページの充実

こども広場のイベント情報や活動報告など最新の情報を適宜発信しました。

エ) フェイスブックなどを通しての情報発信

スタンダードとなりつつあるデジタルツール「フェイスブック」を積極的に取り入れ、こども広場の旬な情報を発信し続けたことで、新規利用者獲得に取り組みました。

## ③ 事業報告

### 1) 屋内公園事業

ちびっこ広場とげんきっこ広場では、「日常のあそび場」と「子育ての場」という観点から、こどもたちにとって必要なあそびが実現できる日常的な空間と親同士が子育てに関する情報の受発信ができる環境の場を築き上げました。

ア) 私たちが提案するあそび場

・自由で充実したあそび環境を提供

季節や天候に左右されない屋内で、多彩な身体動作を引き出しデザイン性にも優れたあそび道具を多数導入し、創意工夫に満ちたあそび環境を提供しました。

・地域コミュニティの中心となる広場の提供

地域の人々が気軽に集い、子育ての情報交換を行うなど、あそび場が地域の人と人をつなぐ「地域コミュニティの核となる広場」となることを目指し運営しました。

・親同士のコミュニケーションや情報交換を通し子育て支援の場を提供

子育てに関する催しを定期的で開催したことで、訪れた親同士が気軽にコミュニケーションが図れ、子育てに関する情報の受発信ができる子育て支援の場として、多くの方にこども広場を活用していただきました。

イ)あそび道具の選定基準

私たちが提案する遊び道具は、こどもの成長に欠かすことのできない生活のための道具であり、あそびの中でこどもが主体となって、工夫次第で様々なあそびへと発展するものこそふさわしいという考えから、あそび道具を世界中から厳選し、ちびっこ広場・げんきっこ広場に導入しました。

大きく分けて以下の4種類の遊具を選定しました。

- ・想像力や工夫する力などを育む道具
- ・全身を使ってあそべる遊具(体づくりやバランス感覚の養成)
- ・感覚を刺激し成長発達を促す遊具
- ・創造力を養うとともに他の利用者との交流を通じ社会性を育む遊具

5月と11月に新規遊具の導入をしました。

ウ)げんきっこ広場のイベント

げんきっこ広場では、プレイリーダーが魅力あるさまざまなイベントを企画しました。

・集合!いつもの広場がちょっと違う!

プレイリーダーが広場にある遊具を使って、普段とは違うあそびの方法を提案しました。夏休み期間中にあそんだことのない遊具にチャレンジする「チャレンジウィーク」や、親子で楽しめる「げんきっこの運動会」、伝統行事を織り込んだ「げんきっこ広場の節分」などを実施しました。

・げんきっこ広場のおたんじょう会 ○・○月生まれのお友だち

その月に誕生日を迎えるこどもをみんなで祝うイベントを毎月開催しました。遊具を使用して大型ケーキを作成したり、また手作り王冠をかぶり写真を撮ったり、おたんじょうびを迎えるこどもにとって思い出となるイベントを演出することができました。

・季節イベント

「ジャンボ・ハイハイかるた大会」、「げんきっこ広場のひな祭り」、「ハッピーハロウィン」など、親子で楽しめる季節にあったイベントを開催いたしました。

・クラフトイベント

親子で簡単に楽しく作れるものをテーマに、折り紙や画用紙など身近にある素材を用いて工作を行いました。七夕やクリスマスの季節には、折り紙で壁面飾りを楽しんだり、敬老の日では、手形をかたどり祖父母にプレゼントするクラフトイベントを開催しました。

・クリエイティブイベント

クリスマスに「おどって!ハッピークリスマス」を開催し、音楽に合わせて親子でダンスをする体験型イベントを行いました。

### ・げんきっこ広場デビュー

初めてげんきっこ広場を利用される親子を対象に、プレイリーダーとともにげんきっこ広場を巡るデビュー企画を適宜行いました。各ゾーンを周りながら遊具に触れていただき、実際に親子で遊びを体験してもらうことで、「また来たい!」という気持ちを誘発させ次の来館に繋がる足掛かりを築きました。

### ・サプライズイベント

来場された方の人数に合わせてさまざまなサプライズイベントを行いました。3月には、げんきっこ広場の利用が3月末をもって終わりを迎える小学2年生のこどもを対象に、今までのご利用に感謝の気持ちを添えた感謝状を贈呈したサプライズイベントを実施し、受け取った親子からはたくさん感謝の言葉をいただき、思い出に残るイベントとなりました。

### ・あそん de 絆

通常ご利用いただけない3歳未満や小学3年生以上のこどもを対象に、げんきっこ広場のあそびを体験していただけるイベントを開催しました。特に3歳未満のこどもには、3歳から利用できるげんきっこ広場の魅力を感じていただけるよう遊具の特性や価値など丁寧に説明し、次回以降の来館に繋げることができました。

### ・団体利用 Day(要・事前打ち合わせ)

11月に横浜の幼稚園の団体受入れを行いました。事前に打ち合わせをして、これまでの実績をもとに比較的用户の少ない時間帯や曜日を受入日として設定し、安心・安全にご利用いただくことができました。

### ・げんきっこ広場の利用者を増やす各種イベント

利用者を増やす取り組みとして、SDGsのイベントを開催しました。「食品ロスの低減」をテーマに、絵本「もったいないばあさんのいただきます」の読み聞かせをして、参加者皆で食品ロスの低減について考える良いきっかけとなりました。

### ・やまとみらい間での共催イベントの開催

図書館、生涯学習センター、芸術文化ホールなどと共催でこども向け、親子向けのイベントを行いました。

11月の周年祭「やまとみらいまつり」の特別企画として、生涯学習センターの会議室にて「出張ボーネルンド」を開催し、こども広場やボーネルンドの遊具について多くの方々に知っていただく機会を設けました。

### ・トライアル事業

以前から利用者からの要望が多かった「げんきっこ広場への満2歳児の入場希望」の声にお応えし、11月から1か月間の試行期間を設けて「げんきっこ広場3歳未満児入場の一部受入緩和(満2歳児の入場)」を実施しました。期間中に何度もご利用いただいた親子の姿も見られ反響の大きなトライアル事業となりました。

\*新型コロナウイルス感染拡大に伴う対策の一環として下記のイベントは中止となりました。

### ・あつまれ!あさいちキッズ

#### エ)ちびっこ広場のイベント

ちびっこ広場ではプレイリーダーがイベントを企画しました。

### ・はっぴーぴよぴよタイム



その日の利用者層に合わせて実施する親子のふれあいイベントとして、9月に「てがた de Magokoro」という敬老の日イベントを開催しました。こどもの手形をかたどったものを祖父母にプレゼントし、多くの参加者に喜んでいただけたイベントとなりました。

\*新型コロナウイルス感染拡大に伴う対策の一環として下記のイベントは中止となりました。

- ・ほっこりタイム(絵本の読み聞かせと親子遊び)
- ・ほっこりスペシャル
- ・英語を使った子育てイベント
- ・子育て情報や体験会の実施
- ・ボランティアによるあそび
- ・子育て支援員の活用

## 2) 保育施設事業

### ア) 幼児預かり事業(保育室)

満1歳以上の未就学児童の預かり保育と保護者の支援を行いました。令和3年度4月から、シリウス館内を利用される方のみならず、気持ちのリフレッシュや自分磨き・趣味などといった自分のために時間を費やすことを目的に他施設を利用される方のこどももお預かりできる体制に整えました。保育では、音楽の読み聞かせ、手作りおもちゃやシール貼りなど、こどもにとって居心地の良い場所となるよう心掛けて取り組んできました。

#### 【サービスの流れ】

##### ・予約受付

申込書を用いて、ご利用に日時のほか、こどもの名簿(名前・呼び名・月齢・こどもの癖・健康状態・アレルギー等の注意事項等)を作成しました。

##### ・当日お預かり時

視診と保護者への口頭によるヒアリングを行い、こどもの健康状態確認し、気になることがあればメモをし、他の職員にも周知しました。

##### ・保育

こどもがくつろいだ環境の中で、安心して楽しく過ごせるように発達段階に応じて絵本の読み聞かせや、リズムあそび、制作を行いました。

##### ・お引渡し

お迎え時に託児中の様子をレポートにして丁寧にお伝えしました。

### イ) イベント

保育士によるさまざまなイベントを行いました。

#### ・絵本の読み聞かせ

季節や発達段階に応じた絵本をピックアップして定期的に読み聞かせを行い、こどもの想像力や発想力を向上させるきっかけを作りました。

#### ・大きくなったかな?(乳幼児身体測定)

乳幼児を対象とした身体測定(身長・体重)を適宜行いました。成長を記録したカードを渡し定期的に利用していただくことで、こどもの成長を感じていただきました。また大和市立図書館との連携で、毎月第3土曜日のおはなし会終了後、おはなしの部屋にて「出張版大きくなったかな?」と称した身長体重測定も行いました。

・まめたん～みんなのはじめておうえんします～(生後1～4ヶ月)

初めての育児に対する不安や悩みを互いに共有し合える場を提供しました。また看護師を招き子育てについてのアドバイスを行い、育児に対する不安解消にも努めました。

・ころたん～みんなのこにこおうえんします～(生後5～8ヶ月)

親子のスキンシップを深める手遊びや専門講師を招きベビーマッサージを行いました。また参加者同士の交流の時間を設け、ママ友人作りや情報交換の場を提供しました。

・とこたん～みんなのこれからおうえんします～(生後9～12ヵ月)

親の集いの場として、親子のスキンシップを深める手遊びやふれあい遊び、ベビートミックを行いました。親子が相互に交流し、情報交換する機会を提供することで、子育てのストレスや不安を軽減させました。

・からだをうごかしてあそぼう!

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛により、こどもが思いっきりからだを動かす機会が少なくなったとの利用者の声にお応えして、新たにからだを使ったイベントを開催しました。1歳～2歳のこどもと保護者を対象に、自宅ではできないダイナミックな動きを伴う遊びを提案し、からだを動かす機会を創出しました。

・保育室の利用を増やすための各種イベント

子育て中の親を対象に保育付きイベントを毎月開催しました。こどもを預けながら趣味やリフレッシュの時間を楽しむことができるとして、高い評価をいただいたイベントとなりました。

ウ) 育児相談事業(相談室)

全ての子育て家庭を対象に育児に関する不安や悩みの相談を受け付けました。経験豊富な保育士(有資格者)や子育て支援員により、専門的なアドバイスができる体制を作りました。子育てに不安や悩みを抱える方々に、気軽に相談できる場を提供することで、一人で抱え込むことを防ぎ、疑問や不安を解消することにより、より子育てを楽しんでもらうことを目的としました。また、大和市が定期的に行う保健師等による健康相談、管理栄養士等による栄養相談の業務支援を行い、日常的に保健所や児童相談所などの行政機関と連携できる関係を築きました。

エ) 多目的室運営事業(多目的室)

・親子でものづくり教室(月4回実施、火、土、日内で不定期開催)

親子で楽しめるものづくり教室を開催しました。季節を感じながら、入手しやすい材料で、親子と一緒に作品作りをしました。また1歳、2歳になるこどもを対象にシール貼りやお絵描きをする「つくってあそぼう!」と、誕生月にこどもの手形を取り成長を祝う「おたんじょうび手形」を実施しました。

・保護者向け講座

子育ての不安解消や気軽に相談できる集いの場として「ママ友をいませんか?」を開催し、同世代のこどもを持つ母親を対象に、育児の話や母親同士のコミュニケーションの場を設けました。また母親だけでなく父親も参加した「ファーストシューズの上手な選び方」では、足育の観点からこどもにあった正しい靴選びをすることが重要であることを学んでいただきました。

・妊娠不安解消講座 ベビシャワー～プレママのおしゃべり会～

妊婦さんを対象に、孤立感を感じることをなくし、楽しいマタニティーライフを送れるよう支援しました。看護師を招き妊娠中の不安や悩みを解消し、またこれから生まれてくる我が子のために「おむ

つケーキ」を工作したりと大変盛り上がったイベントとなりました。

#### ・育児不安解消講座ダイヤモンド♪自分らしく輝くために・・・♪

専門講師による子育て支援講座として、育児に対しての不安やストレスを参加者全員で共有し、専門講師からの確かなアドバイスや指導をいただくことで育児に対する不安解消と親同士が情報共有できる場を提供しました。

#### ・ママとアネシイ

子育て中のママを対象とした心と身体のリフレッシュ企画として、こどもを保育室に預け、トレーニングヨガとパワーヨガを行い、心と身体を調律し心身の健康と癒しを提供しました。

#### ・Music for Body メンテナンス

女性を対象に、ピアノの生演奏に合わせたストレッチとリズム遊びを行い、日頃の運動不足の解消とリズム感を養う講座を開きました。

#### ・子育て&マネー講座

こどもの才能発見と子育てに必要なマネープランを題材とした講座を開きました。ファイナンシャルプランナーを招き、こどもの個性や隠された才能の発見や、将来子育て家庭に必要なお金の額と節約術などを学んでいただきました。

#### ・キッズマネー講座

幼児から小学生までを対象に、ファイナンシャルプランナーによるお金の歴史や世界のお金について学ぶ講座を開きました。多くの参加があり、講座を通してお金の大切さを学ぶ良い機会となりました。

#### ・親子で初めてを応援

夏休みに親子で気軽に参加できる「クリエイティブラボ 色彩いろあそび」を開催し、スタンプアートで色の美しさを体験してもらい、普段触れることが少ないであろう芸術文化に触れていただく機会を設けました。

#### ・食育

看護師による「取り分け離乳食」講座を開きました。ひと手間加えることでおいしくなる離乳食や食育に関する座学など、食の大切さを学んでいただきました。

#### ・こどもたちにたくさんの体験、経験の機会をつくるイベント

1歳～2歳の親子を対象に、親子でリトミックをする「リズムック」や簡単な日常会話や歌を英語で体験する「コッケコひよこの親子英語」を開催しました。

#### ・FTP 講座(ファンクショナル・タッチ・プログラム)

我が子と触れあいながら育児場面に応じたタッチを行うことで、こどもの心に対する理解を深め、親子の愛情を育む体験型の子育て講座を開きました。

#### ・こども広場の利用者を増やすための各種イベント

今年度の新たな取り組みとして、利用者からの要望が最も多かった「身体を使ったイベントを開催して欲しい」という声にお応えし、土曜日夕方限定企画として「太極舞」を開催しました。また、こどもと一緒に楽しく楽しめる「Kid' リトミック」や「キッズヨガ with ママ」も開催し、ともにリピート率の高いイベントとして利用者から高い評価を得ることができました。

#### ・やまとみらい間での共催イベント

図書館、生涯学習センター、芸術文化ホールなどと共催でこども向け、親子向けのイベントを行

いました。6階文化創造室にて「子育て応援オンライン講座 親子で楽しむこども読書週間」を開催し、オリジナル紙芝居や手遊びを交えて親子のコミュニケーションを取っていただきました。

### 3) 実施体制

これまで培ってきた院内保育や他の子育て支援施設での管理経験をフルに活かして運営にあたりました。また定期的にスタッフのスキルアップを目的とした研修会を開催して、安心安全で質の高い子育て支援施設を目指しました。

屋内こども広場イベント参加人数一覧

げんきこ広場

イベント名	月別参加人数							内容
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
集合!いつもの広場がちよっと違う!	38				409		527	普段とは違った遊びの提案
		63			17		131	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
げんきこ広場のおたんじょう会	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	みんなで祝うおたんじょうびイベント
	41	47	55	57	32	50	495	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
季節イベント	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	シーズンテーマに合わせたイベント
		55	48	74		7	383	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
クラフトイベント	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	親子で楽しむ工作イベント
				150		40	942	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
クリエイティブイベント	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	親子で楽しむ体験型イベント
							47	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
サプライズイベント	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	利用者人数に合わせて開催するサプライズイベント。
	5		27	16		39	505	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
あそん de 絆	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	げんきこ広場をご利用いただけないお子さまを対象とした冒険イベント。
	18	45	33	54	14	33	411	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
	30	46	33	31	44	30	34	
団体利用 Day	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	11/1(月)横浜の幼稚園団体受入れ
							17	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
	17						17	

大和市文化創造拠点シリウス 開館5周年記念事業

イベント名	月別参加人数							内容
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
出張ボーネルンド							158	周年祭特別企画イベント
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
		158					158	

ちびっこ広場

イベント名	月別参加人数							内容
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
はっぴーぴよ ぴよタイム						11	11	9/13(月)敬 老の日イベン ト「てがた de Magokoro」 開催
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
							11	

#### 幼児預かり事業

イベント名	月別参加人数							内容
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
まめたん	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	生後1~4か 月の乳幼児を 対象とした子 育て支援企画
	6	10	8	10	2	0	70	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
ころたん	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	生後5~8か 月の乳幼児を 対象とした子 育て支援企画
	10	10	8	8	10	10	118	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
とこたん	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	生後9~12 か月の乳幼 児を対象とし た子育て支援 企画
	10	10	10	10	10	8	112	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
からだを動か してあそぼう!	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	自宅ではでき ないダイナミ ックな動きを 伴うあそびの 提案
	8		8		8		88	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
	22		22		20		14	

保育一時預かり	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	1歳	626人
	85	81	99	118	114	102	1450	2歳	475人
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	3歳	148人
	123	149	136	130	132	181	120	4歳	90人
								5歳	88人
								6歳	23人

#### 育児相談事業

イベント名	月別参加人数							内容
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
身体測定	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	0歳 285人 1歳 146人 2歳 89人 3歳 39人 4歳 23人 5歳 17人 6歳以上 21人
	65	66	62	63	58	63	620	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
出張版 大き くなったかな?	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	図書館主催 の「おはなし 会」終了後、 身体測定実 施
	22	12	23	15	15	16	164	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
育児相談	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	発育:42件 生活:43件 健康:4件 家庭:6件 育児:16件 他:5件
	13	26	9	18	11	11	116	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
すくすく育児相 談	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	大和市こども 部すくすく課 主催の育児
	12		8		5		59	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	

	12		10		12		9	相談:偶数月 に開催
--	----	--	----	--	----	--	---	---------------

多目的室運営事業

イベント名	月別参加人数							合計	内容
親子でものづくり教室 1歳~2歳 年少~小2	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	親子で楽しめるものづくり教室:月4回開催	
	31	34	33	32	27	29	413		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均		
ベビーシャワー	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	妊婦さんを対象とした妊婦不安解消講座	
		0		4		0	11		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均		
ダイヤモンド	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	専門講師による子育て支援講座	
	4	10	8	10	8	10	112		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均		
ママとアネシイ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	子育て中のママを対象としたリフレッシュ企画	
	5	4	5	5	5	5	56		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均		
Music for Body メンテナンス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	女性を対象とした運動不足解消企画	
	5	5	5	5	3	4	70		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均		
子育て&マネー講座	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	子育て中の親を対象としたファイナンシャルプランナーによるマネー講座	
		6		3			20		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均		
キッズマネー講座	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	幼児から小学生を対象としたファイナンシャルプランナーによるマネー講座	
							10		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均		
FTP 講座	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	親子の愛情を育む体験型子育て講座	
						8	64		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均		
その他	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	子供向け・保護者向け・子育て支援の講座など。	
	16	8	40	56	67	65	546		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均		
	67	14	92	31	26	64	45		

④ 利用規則

1) 施設利用の公平性

職員研修の実施、事業計画のスケジュールの作成、ユニバーサルデザインの原則を踏まえたサービスの提供といった対応策を講じたことで、施設利用の公平性の確保に努めました。ユニバーサルデザインの7原則を踏まえ、「人的サービス・業務的サービス・施設サービス」の三つのサービスを必要に応じて組み合わせながら、誰もが気持ちよく利用できる施設を築くことができました。

2) 利用規則

事業計画に則り行いました。

### 3) 利用料金

事業計画に則り行いました。

### ⑤ 人員体制

事業計画に則り行いました。

## (5) 共通事項

### ① 連携事業の計画

やまとみらいが運営する全 7 施設による連携事業を通じて、①「学び、感じ、創造する場」、②「本から広がる感動を提供する場」を市民へ創出するため、JV 各社の委員構成からなる広報・事業企画検討委員会が中心となって、「シリウス周年事業」(7施設)、「複数館融合事業」(シリウス内各館)を実施しました。

#### 1) シリウス 5 周年事業・やまとみらいまつり

今年度はシリウス開館 5 周年を掲げ、やまとみらいまつりを実施しました。with コロナの時代を念頭に、新しい繋がり方で「人・地域・文化」を育む特別な一日とすることを目的として「新しいつながり 広がるみらい」をテーマに全 7 施設で開催しました。

シリウスでは、オープニングセレモニーを初のサブホールで実施し、シリウスから離れた場所でも参加いただけるよう、当日の様子をサテライト会場の渋谷学習センターと中継で繋ぎ一体感を演出しました。

開館から 5 年を振り返る動画や手紙、読書の感動を絵で表現することで読書の楽しさを感じ、本に親しむ機会を作る「読書感想図画コンクール」、地元オカリナ演奏者と市民参加によるクラッピング動画で奏でるコラボ「オカリナ Special LIVE」など 5 周年を彩るイベントを開催しました。

この他、地域店舗と連携したワークショップや 7 館施設で開催した「ぬり絵でガッチャン缶バッジ」「スマホで楽しむスタンプラリー」など、デジタル技術を活用した新たな連携事業の実施で、市民の皆様は文化に触れる機会、体験、感動の場を提供することができました。

イベント	実施概要	参加人数
開館 5 周年オープニングセレモニー 「新しいつながり 広がるみらい」	・シリウスのあゆみ ・私×シリウス ・読書感想図画コンクール表彰式 ・オカリナ Special LIVE	172 名 (サテライト会場 30 名)
ドライフラワーで作るスワッグ	Hibiya-Kadan Style 大和プロス店との共同企画	53 名
香り高いポップリとサシェ作り	スターバックスコーヒーYAMATO 文化森店とのコラボ企画	74 名
出張ポーネルド	ポーネルドと屋内こども広場のプレイリーダーとのコラボ企画。	158 名
ぬり絵でガッチャン缶バッジ 11/3(水)～11/7(日)	オリジナル缶バッジ作りのワークショップを 6 館施設で同時開催	481 個
スマホで楽しむスタンプラリー 11/3(水)～11/7(日)	AR 技術を用いたスマホで参加できるスタンプラリーを 7 館施設で同時開催	220 名

### 2) 複数館融合事業

#### ア) テーマ別事業

今年度は、季節や年齢層などバランス良くテーマを設定し、施設一体となって文化の力を発信する事業を行いました。特にコロナ下でも実施できるオンライン講座、地域と連携した阿波おどり応援企画に重点をおき、世情に即した新たな試みにも取り組みました。いずれも、各施設の広報・

事業企画検討委員が協働して企画立案、実施をしています。

【4月】初のオンライン企画として「子育て応援!オンライン講座～親子で楽しむこどもの読書週間」を開催しました。乳幼児がコロナ禍でも安全に参加できる催しとして、3施設がそれぞれの強みを活かして企画、出演、配信技術で協働し、好評を得ました。

【7月】地域連携の一環として「写真・映像でみる神奈川大和阿波おどり」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で延期(のちに中止)となった阿波おどり本大会が本来行われる7月に実施したことで、祭りを待ち望む市民や関係者で賑わい、広いギャラリーでの新しい楽しみ方、またシリウスの集客力を活かしたPRの機会を提供し、文化施設らしく地域に貢献することができました。

【9月・12月】「敬老の日」に合わせシニア世代を元気にする企画を、12月には「クリスマス」を共通テーマに子ども達へのプレゼントになるような催しを、各施設で企画・実施しました。

【12月初旬】「冬のフリマフェスタ」への参加を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施に至りませんでした。

【3月】「防災」をテーマにおき、北部から南部のやまとみらい各施設で防災イベントを実施しました。シリウスでは防災センター職員が解説をするなど、スタッフの専門性を最大限に活かすよう工夫しました。

#### イ) その他連携事業

小規模(主に図書館を含む2社間)な事業であっても積極的に各館協働し、「本から広がる感動を提供する場」を創出するため、年間計163件の事業を実施しました。

施設	事業内容	件数
生涯学習センター×図書館	学習センター講座へ図書館の関連本を選定・提供	40(1)
	「向田邦子 没後40年」の関連本を図書館に展示	1
芸術文化ホール×図書館	ホール公演の関連本を図書館1階に展示	11
屋内こども広場×図書館	コーディネーショントレーニングを健康テラスで実施	51
	屋内こども広場イベントへ図書館の絵本を提供	39(3)
	「シリウス親子のおはなし会」にて身体測定を実施	12
	「ベビーシャワー」でのプレママ向けおはなし会	3(3)
	「ころたん」でのおはなし会	6

※( )内は、新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため中止となった件数

## ② 情報発信に関する取り組み

今年度はやまとみらいの情報が、市内外のより多くの方へ行きわたることを目標に掲げ、活動を実施しました。FMやまと、JCOMなどの地域密着型メディアとの連携により、やまとみらいの取り組みや最新情報を発信、また、ホームページや広報誌などの広報活動は、高齢の方には従来の紙媒体、若年層には新媒体となるSNSなど、ターゲットに合わせた広報ツールを設定しました。

### 1) 情報発信の展開

#### ア) 『YAMATOMIRAI』広報誌の発行

これまでシリウスの情報掲載のみであった広報誌『YAMATOMIRAI』を、やまとみらい7館合同の広報誌としてリニューアルしました。これまでと同様、年6回の発行頻度を維持しながら、全7館の情報を網羅する媒体として刷新し、誌面上は施設ごとにスペースを分け、イベント情報だけでなくご利用案内や特別なお知らせやニュースを掲載するなど、情報発信の幅が広がりました。

紙の配布については市内外への新聞折込みや行政施設への設置、ホームページ上での公開は



これまでと同様ですが、新聞をとっていない世帯に直接届けるシステムを利用して、配布範囲を拡大しました。

#### イ) デジタルツールの活用

ホームページと Facebook による広報活動は継続しながらも、ホームページのトップに流れる文化創造ファクトリーのページを、イベント等の告知スペースに変更しました。お客様の目に留まりやすい場所であるため、情報の話題性や鮮度も重要視しながら運用を行いました。また、新規 SNS である Instagram の運用を開始した施設は、写真による情報発信になるためその特徴をいかした広報を展開しています。さらに、やまとみらい合同 YouTube チャンネルの開設に向け準備を進めるなど、引き続きデジタルツールの活用は積極的な活動を続けています。

#### ウ) 『FM やまと』との連携

毎朝 9 時の時報告知や、定例番組でシリウス内イベントの紹介をしてもらうなど、広報活動の協力体制は引き続き継続できています。また、やまとみらいまつりでは例年司会をお願いしており一緒に活動する場面が増えています。

#### エ) 地域との連携

例年参加している地域商店会で実施するフリマフェスタは、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。また「神奈川大和阿波おどり」は、今年度からやまとみらい連として連部会に所属し、定例会にも出席しました。より地域と連携した活動をと考えていましたが、本大会は中止となりました。しかし、「阿波おどり」をテーマにシリウスギャラリーにて展示会を開催した際には展示作品を提供いただくなど、良好な関係を築いています。

#### オ) 視察対応

1年を通して新型コロナウイルス感染が収まらないなかでしたが、国、自治体、企業、学校から47件の視察がありました。また、新聞、雑誌、テレビといった媒体各社からの取材も積極的に受け、やまとみらい7館を紹介、魅力を伝え、大和市のPRに繋がりました。

#### カ) 施設ガイドの改訂・リーフレットの発行

施設ガイドは、最新の情報を反映し改定しました。また当初、施設内を案内するツールとして紙媒体での館内リーフレットを作成する予定でしたが、感染症予防対策の観点から制作には至りませんでした。しかし、自宅でも施設の概要がわかる施設紹介動画を HP に掲載しデジタルツールの充実へと方向転換しました。

### ③ 利用者の誘致・拡大に関する取り組み

利用者誘致においては、やまとみらい連携事業として広報・事業企画検討委員会において各種イベントを実施しました。コロナ下であっても実施できる工夫をし、施設のファン獲得のための活動を展開しました。

#### 1) 参加者に合わせてコーディネートする館内ツアーの開催

館内ツアー実施の目的は、既に利用したことのある方に向けては新しい発見、利用したことのない方へは誰もが楽しく過ごせる施設であると伝えることです。さらに、今年度は障害をお持ちの方を対象としたコーディネートツアーを企画する予定でしたが、感染状況が落ち着かないため中止しました。結果 1 回の実施となり、全館を巡るツアーを開催しました。多くの方に参加をしていただいています。

#### 2) マス・メディアへのニュースリリース配信

全館イベントや各社の主催事業に関して、それまで年間 12 件前後であったニュースリリースの配信頻度を、令和 3 年度では年間 20 件まで増やしました。そのほか、タウンニュースなどのフリーペーパーや新聞社へ直接電話して取材の交渉をするなど、媒体への掲載頻度が高まるよう努めました。

#### ④ 要望・苦情への対応

各館に設置したご意見箱に寄せられたご意見については、その都度、大和市の担当者と各館の館長、所長で共有を行うとともに、月に一度開催されます「文化創造拠点等シリウス連絡調整会議」において情報交換を行いました。直ぐに対応できる事案については迅速に対応し、利用者からお礼がご意見箱に寄せられることもありました。今後も皆さまにいただいたご意見等を参考に、より快適な施設づくりに努めてまいります。

また、ご意見箱に寄せられたご意見への回答を公開しました。シリウス、北部文化・スポーツ・子育てセンター、中央林間図書館、渋谷図書館ではホームページによる公開、その他地区学習センターについては館内掲示により公開をしています。

次年度は、改めて電話対応研修など接遇基礎研修の充実を図り、特に初期対応における接遇スキルの向上を目指します。

### 3. 施設の維持管理に関すること

(対象施設:全構成施設)

#### (1) 基本的な考え方

##### ① 基本方針

- 安全・安心を支え、快適を提供します。
- 施設・設備の長寿命化とコスト軽減を両立します。

やまとみらいの基本方針 人・地域・文化を育む

#### 施設の維持管理基本方針

来館する市民一人ひとりの「居場所」を  
安全と安心で支え、快適を提供します

2020年1月、シリウスはオープンしてからわずか3年2か月で、1000万人の累計来館者を記録しました。

図書館やホールなどハードとソフトの複合的な魅力が多くの市民を引き付けています。

さらに多くの方々をリピーターとしてお迎えし、また、新たな方々に来館していただくためには、安全と安心を支え続け、快適を提供し続けることが極めて重要だと私たちは認識しています。

今回、施設の維持管理における基本方針は、維持管理を担う構成企業が安全安心を支え続ける、快適を提供し続ける、つまり持続的に継続し続けることが最も大切であると受け止めたうえで、私たち「やまとみらい」の基本方針「人・地域・文化を育む」を反映させた「安全・安心・安定的な管理運営」を具体的に実現していくための基本方針としました。

#### 行動指針

##### 1. 市民一人ひとりの居場所の「安全と安心」を支えます

- (1) 防災・防犯機器の予防保全による保守管理を行います
- (2) 全7館横断の安全向上委員会の活動を継続していきます

##### 2. 市民一人ひとりの居場所に「快適」を提供します

- (1) 清掃業務の自主モニタリングにより品質の向上をはかります
- (2) 予防保全で空調機器などを保守管理し安定稼働を提供します
- (3) 正面入口での立哨警備で不審者の侵入を予防し、巡回警備で抑止力を発揮します

##### 3. 施設・設備の長寿命化とコスト軽減を両立します

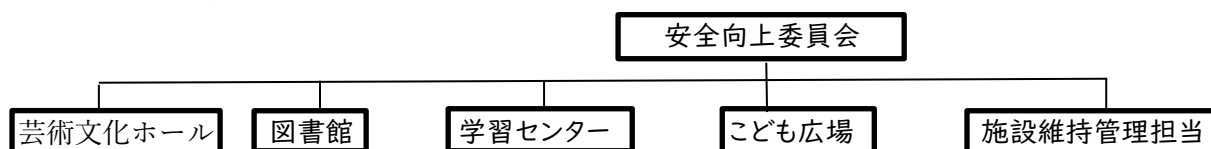
- 予防保全で設備機器を管理し、軽傷のうちに補修していきます
- 設備機器を電子カルテで管理し、定期保守(健康診断)により長寿命化を図ります

##### ② 文化創造拠点等全7館横断の「安全向上委員会」の活動

- 安全向上委員会は、全7館をカバーし、事務局はシリウスの防災センターが努め、月次を開催してきました。
- 安全安心を阻害する要因の把握⇒リスク要因への予防措置の策定⇒予防措置の実施⇒

効果の検証等の繰り返りの活動、事故、トラブルが発生した際には、事案への対応を迅速に行うとともに、原因の分析、再発防止策の検討、再発防止策の実施の母体となります。

○委員会の活動を背景に防災センター職員全員が「防犯防災」の腕章を装着し、見える化を意識して施設内を巡回しています。抑止力も期待しており、「施設の利用が不相当とみられる人物(図書館条例)」を見かけたら積極的に声をかけ、館長もしくは職員と連携し迷惑行為への早期対処に努めてきました。



- ◎JV 全体でリスクや危険要因等を把握
- ◎JV 全体で情報共有◎事故の予防・再発防止策検討◎措置の実施
- ◎整理・整頓・清掃・清潔の4つのSの推進

### ③ 電子カルテ化

○私たちは、コストの削減と機器の長寿命化を目指し、設備機器についての電子カルテを作成し管理しました。

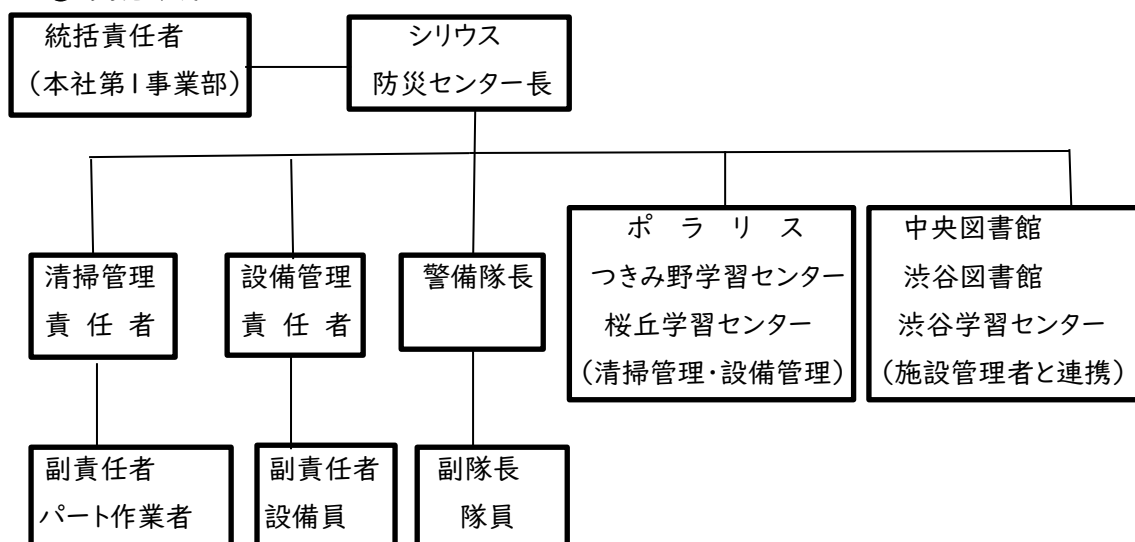
○電子カルテには機器の現状、点検履歴、故障履歴、補修履歴等をデータとして記録していくことにより、過剰な精密検査や補修を避け、機器の状態に則った管理を行うことができ管理コストの平準化を通じてコスト軽減に努めてきました。

## (2) 実施体制及び人員体制

○シリウス防災センターを軸に全7館を一元管理しました。

○警察OB消防OBによる安全安心特別研修を実施する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で特別研修は中止しました。

### ① 実施体制



本社の第1事業部(顧客業務グループ)が統括責任者となり、シリウス防災センターを軸に7施設の維持管理業務を運営しバックアップする責任体制をとりました。

第 1 事業部が、大和市と指定管理者代表企業構成企業等との渉外窓口並びに、防災センター業務全般と清掃管理、警備管理を担当し、設備管理部は設備管理業務を担当しました。

第 1 事業部と設備管理部は連携して、全 7 施設に係るコンプライアンス遵守、安全管理、教育研修の企画・実行、物的人的資源の調達と配置など組織品質の維持と向上に係る指導とサポートにあたりました。

私たちは特に、極めて多くの市民がシリウスへ来館している実態を踏まえて、警察 OB と消防 OB を講師とする教育研修を 6 か月毎に実施し、安全と安心を支えるための心構えと実践を継続的に学び直すこととしておりましたが、コロナ下で実施できませんでした。

また、各施設の設備関係点検はシリウス所属もしくは本社サポート所属の設備員が出向き、全体の状況をシリウス防災センターで一元管理することとし、設備管理の作業品質の向上をはかりました。

なお、中央林間図書館と渋谷図書館・学習センターではそれぞれの施設管理者と連携をとり維持管理を進めました。

## ② 高品質清掃研修の実施

清掃品質の維持向上と他施設への横展開のため、各施設に配属する清掃員は必ずシリウスでの高品質清掃現場研修を経て配属しました。また、定期的に清掃責任者巡回させました。

## (3) 安全・安心の拠点に関すること

### ① 防災センターの位置づけ

○防災センター所長は、清掃・設備・警備・駐車場・駐輪場の各業務を統括するとともに、指定管理者やまともみらいに横断的に組織される安全向上委員会の事務局を務め、文化創造拠点シリウス全域の安全の向上に向けて活動しました。

○あわせて、文化創造拠点等の全 7 館の維持管理を一元的に管轄するセンターとして機能しました。

○防災センターの業務を遂行するため、防災センター長(8:00~17:00)及び警備員(8:30~翌 8:30 宿泊)、設備員(7:30~22:00)を配置しました。

### ② 個別業務

○防災センターにて火災等の監視と消防設備等の制御、非常放送、監視カメラでのモニター・記録、非常ベル発報の受信等を行い、常時最低 1 名が常駐して、緊急時に備えました。

○また、防災センターは設備機器の中央監視室として空調機器等の主要設備の監視と遠隔操作を行い館内の快適さの維持に努めました。

○防災センター所属のセンター長、警備員、設備員は、防災防犯の腕章を装着するとともに、抑止力を発揮すべく「迷惑行為などが発生していないか」などを意識しながら施設内の特に来館者が多くいるエリアを巡回しました。

○更に、大和市図書館条例等に示されている「施設の利用が不相当と認められる人物」を見かけたら、館長や職員と連携して積極的に声掛けを実施し、迷惑行為などに早期に対応しました。

○加えて、館長や職員から出動要請がある場合は、警備員だけでなくセンター長、設備員も含めて「オール防災センター」で機動的に迅速に対応しました。

### ③ 緊急時の対応

- 防災センターは、常時最低1名以上が災害や事故に備えて常駐しました。
- 防災センター要員は、防犯のために館内を巡回し、防災・防犯のための機器を点検して回っており、建物内で起きる緊急事態に直ちに対応できるよう備えました。
- 防災センターは万一の場合は、消防や警察など公的機関の指揮所にもなりますので、日頃からセンター内にある各種機器も予防保全の観点で保守管理を行っています。

### ④ 設備業務内容

- 設備機器、施設を熟知し「安全・安心を支える」ために、適切な点検を行い記録しました。
- また、「快適を提供する」ために適切な点検と運転で諸々の機器を安定稼働させ、電子カルテを作成し、予防保全に活用してコスト軽減と機器の長寿命化の実現に努めました。
- 防災センター要員として施設全体の構造、動線、組織を熟知し、有事の際は適切に対応します。
- シリウス防災センター所属の設備技術者がポラリスなど各施設の点検に出向き、全体の状況を一元管理しました。

#### 機器の安全管理について

安全に直結する機器の管理には特に細心の注意を払います。例えば非常用発電機は、火災や地震等の災害時に万一電力供給が絶たれた際、自動的に起動し、非常灯を点灯させ、スプリンクラーなど消防機器を動かし、来館者の避難や初期消火を可能とするもので、極めて重要な機器です。非常用発電機は年に1度精密な点検を行います。(定期点検の年間予定参照)。また、起動テストは月に1度行います。機械が動くことをただ確認するのではなく、何のために動かさなければならないのかを意識し、注意深く管理してまいります。

### ⑤ 警備配置人員

- 責任者は、警備員指導教育責任者、施設警備業検定等の公的資格を有し、類似施設での業務経験を有する能力・資質の高い職員を配置しました。
- 副隊長以下も責任者に準ずる職員を配置しました。

### ⑥ 警備業務内容

- 多数の来館者の安全安心のためのエントランスでの立哨警備、不審者抑止と迅速対応のための館内の巡回警備、そして防災センターでの緊急事態への備えとして監視警備に常時従事しました。
- 防災センター要員として施設全体の構造、動線、組織を熟知し、有事の際は適切に対応します。
- ポラリスなど各施設は機械警備で安全を確保しますが、有事の際はシリウス防災センターが関係部署と連携して対処します。

### ⑦ 清掃配置人員

- 責任者は、清掃指導監督責任者、ビルクリーニング技能士等の公的資格を有し、類似施設での業務経験を有する能力・資質の高い職員を配置しました。
- 副責任者以下も責任者に準ずる職員を配置しました。
- ポラリスや桜丘学習センター、つきみ野学習センターに配属する職員は、高い清掃作業品質を維持しているシリウスでの現場実習を経てから正式に配属します。

### ⑧ 清掃業務内容

- 清掃員は、7:00～22:00の間、常駐し各施設の営業時間帯をカバーします。
- 施設を熟知し「快適を提供する」ために、利用者の視点で適切な清掃を履行しました。
- 施設の美観と清潔度のシンボルである「トイレ」清掃には細心の注意を払いました。
- 緊急の清掃要請には迅速丁寧に対応します。そのため営業時間をカバーする時間帯に職員を配置しました。

### ⑨ 駐輪場配置人員

- シリウスには駐輪場が位置する地下1階から地上に向かう通路に自転車搬送コンベアがあるので、安全管理の観点から利用が多い平日は14:00～17:00、土日祝日及び夏休みなど季節休暇期間中は11:00～14:00を追加し配置しました。

### ⑩ 業務内容

- 自転車、小型バイク入庫時にスロープの安全確認を行い、出庫時の搬送コンベアで事故が起きないように安全補助作業をしました。
- 混雑時に地下1階にある駐輪場内、出入りゲートで事故が起きないように場内誘導作業をしました。
- 初めての利用者や利用料減免対象の利用者に対して説明しました。

### ⑪ 施設の営業時間の清掃・設備・警備に関すること

- 警備ではシリウス正面玄関での立哨警備、清掃では夕方の巡回清掃の人員を増やし、更なる安全安心、快適な環境を提供しました。

## (4) 安全管理及び緊急時の対応に関すること

### ①安全マニュアルを更新

- 平成28年11月にオープンしたシリウスを中心に、ポラリスなど文化創造拠点等への来館者は極めて多くの数となりました。6年めに入り施設運営の経験を踏まえて、多数の来館者の安全と安心を支える観点から、改めてリスク要因を洗い出し、加えて新型コロナウイルスの感染予防対応など予期しなかったリスクも織り込み、「事故・トラブルの未然防止」の観点から安全マニュアルを発展的に見直します。またこの見直しと並行して、ポラリスなど他施設の安全マニュアルも更新しました。建物内外の動線・床面・立面・諸設備等を「危険でないだろうか?」という視点で、改めてリスク対応を行うPDCAのプロセスを続けます。
- 安全対策にはユニバーサルデザインの考え方を重視します。当施設は、初めて来館する方、子どもや年配の方、車いすを使う方、視覚障がい者などさまざまな方が来館します。私たちは、それぞれの方の視点、動きから施設内での危険要因を把握し、移動の安全性を確保し、また、掲示物のわかり易さにも工夫をこらすなど安全対策を講じました。
- 新型コロナウイルスへの対応は、経験を蓄積し引き続き実践してまいります。

### ②安全向上委員会活動の継続

- 構成企業各社が参加する安全向上委員会を毎月開催できました。各社の経験に加え、他施設の情報や事例も加えて、事故の未然防止に役立てまいりました。
- 事故やトラブルが発生した際には、事案への対処を直ちに行うとともに、原因の分析、再発防止策の検討、再発防止措置を実施しました。

○整理・整頓・清掃・清潔の4つのSについて、施設での推進役となり各施設の職員の意識向上に役立てました。

#### **4. 管理に係る経費に関すること**

##### **経費削減の取り組み**

##### **(1) 省エネルギー及び事務経費等省コスト化の推進**

職員が省エネルギーの推進意識を持ち、気候に即した照明や空調の調整、消し忘れ防止等に努め、省エネルギー化を推進してまいりました。事務作業では、ペーパーレス化を推進し、印刷費用や通信費の削減を目指しました。環境保全の観点、また光熱水費の高騰も考慮し、一層の経費削減に努めます。

##### **(2) 市民交流拠点ポラリスにおける券売機の導入**

アリーナの個人利用者を対象に券売機を導入し、受付対応の簡素化による利便性の向上と業務効率化を図りました。



【第2部 収支決算概要】

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者 に払った金額)	1,057,896,434	人件費 (指定管理者が雇用した 職員の給料、諸手当、福 利厚生等の金額)	766,273,528
利用料金収入 (条例に基づき、利用 者が指定管理者に支 払った利用料金)	101,011,456	事業費	95,656,634
事業収入	17,711,561	事務費	60,275,025
協賛金・補助金等 収入 (助成金等)	3,684,058	維持管理費	250,748,748
その他収入 (駐車場利用料)	21,176,700	修繕費	6,156,488
		その他支出 (全館広告費)	18,462,226
収入計(①)	1,201,480,209	支出計(②)	1,197,572,649

収支決算(①-②)	3,907,560
-----------	-----------

### 【第3部 管理運営に関する評価等】

指定管理者の管理運営に関する評価は、次のとおりです。

評価にあたっては、指定管理者選定時の審査項目をもとに行い、令和4年8月22日に文化創造拠点等運営審議会からの意見聴取を行いました。

#### 【評価】

指定管理者選定の審査項目に対する評価は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けつつも、事業計画書に基づき適切な水準で管理運営が行われていました。評価の視点1～4に基づく評価結果は、以下のとおりです。

評価の視点1：施設を利用する人に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか。

- ・サービス向上を目的とした館内利用者アンケートが全施設で実施されており、利用者の満足度を客観的な視点から把握し、適切に検証されていた。
- ・各サービスの提供にあたり、各構成企業の強みを活かした、魅力的な事業が展開されており、民間活用の利点が十分に発揮されていると考える。
- ・障がい者や高齢者への配慮も適切になされており、特にホール関連サービスにおいては、バリアフリーコンサートの実施や、骨伝導補聴システムの導入、手話通訳者の手配等により、配慮が必要な利用者でも楽しめ、魅力的な公演事業が行われたこと特筆すべき実績であるといえる。
- ・適切な利用料金が設定されており、管理運営における採算性を保ちつつ、平等な施設利用が確保されていた。
- ・今後、様々なイベント等の情報発信においては、高齢者等のデジタル媒体による情報に触れる機会の少ない人達へどのように情報を届けるのかを工夫し、積極的な情報発信に努めることを期待している。

評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか。

- ・シリウスの運営にあたって指定管理者が定めた「人・地域・文化を育む」という基本方針のもと行われた、これまでの運営により、市民の意識の中に、シリウスが大和市を代表する施設として位置付けられつつあることは高く評価できる。
- ・また、シリウスを中心に各施設間の連携事業が効果的に企画されていたことは、各施設の設置目的をふまえ、市内の文化施設を一体的に管理運営する意義を十分理解していることによるものであるといえる。
- ・令和3年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、いくつかの事業の見直しを余儀なくされる等の影響の中、代替事業の実施や、SNS を活用した情報発信、オンライン講座の実施等、新しい生活様式に即した事業運営にも柔軟に対応した点は高く評価できる。
- ・また、当初の計画にとどまらず、その時々々の時勢を捉えた、企画展示や、保育事業の館外利用者への対象拡大等の新しい取組を始めるなど、日々多くの利用者が訪れる、シリウスの特性に対応した積極的な事業運営が見られた点は高く評価できる点であり、今後も当初の計画に固執することなく、柔軟な対応を期待したい。

評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が行われたか。

- ・施設運営の大前提となる、各種設備の維持点検業務については適切に行われ、年間を通じて施設に起因する大きなトラブル等は発生していない。
- ・館内における急病人等への対応も適切に行われており、問題はなかった。
- ・今後は、文化創造拠点等の各構成施設がより、安全で魅力的な施設であり続けるために、JV各構成企業間で十分に連携、情報共有を行い、予防的修繕や、清掃の徹底等に引き続き取り組んでいくことを望む。

評価の視点4:施設に管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか。

- ・令和3年度から、新しい指定管理期間がスタートし、市内の文化複合施設の一体的管理が本格的に開始されたことに伴い、組織の規模も拡大したことから、全スタッフが共通の意識のもと、行動できるための指針を示す等、統括責任者のもと、各施設館長による一体的な管理運営に必要な体制が適切に構築されていた。
- ・また接遇レベルの向上や各専門分野の資質向上のための職員研修も適宜実施されており、全体のサービスレベルの向上に貢献したと考えられる。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、利用料金、事業収入等の確保について苦慮した部分が見られるが、経費縮減の取組により収支のバランスは安定しており、問題無く運営が行われた。